

第3次前橋市食育推進計画 ～元気 まえばし 食育プラン～

## 食育事業実績シート



令和3年度  
～下半期～

## 食育事業実績シートについて

「第3次前橋市食育推進計画」に基づき、関係各課等で様々な食育に関する事業を実施しています。

以下の4つの基本目標を柱とし、「市民の健康寿命の延伸」を全体目標としています。

- 1 生涯健康なからだを「つくる」
- 2 豊かなところを「はぐくむ」
- 3 地域の食文化を「つたえる」
- 4 食の安全・安心を「まもる」

各課の事業を、4つの基本目標ごとにまとめました。

## もくじ（基本目標別）

### 生涯健康なからだを「つくる」

### 45事業

#### 【子育て支援課】（18）

9～10か月児健診.....	1
1歳6か月児健康診査.....	2
2歳児歯科健康診査.....	3
3歳児健康診査.....	4
おくちげんき教室.....	5
オンライン教室.....	6
すこやか健康教室（栄養）.....	7
すこやか健康教室（歯科）.....	8
ステップアップもぐもぐ教室.....	9
にこにこ健康相談.....	10
ハローベビークラス.....	11
プリミークラブ.....	12
窓口健康相談.....	13
電話相談.....	14
動画配信.....	15
訪問栄養指導.....	16
離乳食講習会.....	17
栄養業務従事者研修会.....	18

#### 【長寿包括ケア課】（7）

介護予防サポーター養成研修・活動支援.....	19
各種介護予防教室での栄養講話 及び個別相談.....	20
噛む力をはぐくむ教室.....	21
健康教育.....	22
訪問栄養指導.....	23
介護食講習会.....	24
からだ健やか栄養講座.....	25

#### 【国民健康保険課】（7）

特定保健指導.....	26
高齢者の保健事業と介護予防の一体的 実施事業.....	27
特定健診時および事後における情報提供 .....	28
健診時当日の特定保健指導.....	29
食に関する正しい情報 及び知識の情報発信.....	30
特定保健指導用媒体作成.....	31
ショーケースを利用した食育展示 及びSNSによる情報提供.....	32

#### 【健康増進課】（10）

からだに美味しい食講座.....	33
前橋市食生活改善推進員協議会事業.....	34
ウェルネス通信.....	35
若い世代への食育①.....	36
若い世代への食育②.....	37
歯科保健事業（成人歯科健康診査等）.....	38
動画配信.....	39
野菜をもっと食べようキャンペーン.....	40
いきいき健康教室.....	41
健康教育・相談.....	42

#### 【学校教育課】（1）

給食時間における指導.....	43
-----------------	----

#### 【生涯学習課】（2）

桂萱オンライン講座.....	44
粕川公民館子育て親子支援事業.....	45

## 豊かなところを「はぐくむ」 8 事業

【社会福祉課】(1)	
まえばしフードバンク事業.....	46

【子育て施設課】(2)	
お便り・レシピの配布.....	48
お楽しみメニュー・おやつの実施.....	49

【健康増進課】(2)	
前橋・高崎連携事業.....	50
食育ライブラリー.....	51

【ごみ減量課】(1)	
ごみ減量普及啓発事業.....	52

【浄水課】(1)	
敷島浄水場	
施設見学における水道水への理解	
.....	53

【教育委員会総務課】(1)	
給食時間等の栄養指導.....	54

## 地域の食文化を「つたえる」 14 事業

【生活課】(1)	
地域づくり協議会が行う食育関連事業	
.....	55

【観光政策課】(2)	
T-1 グランプリの実施.....	56
TONTON のまち前橋豚肉料理	
グルメブックの作成、加盟店舗の普及	
.....	57

【農政課】(3)	
郷土料理講習会.....	58
赤城の恵ブランド推進事業.....	59
伝統野菜づくり事業.....	60

【健康増進課】(2)	
農政課と連携した食情報発信.....	61
旬の野菜レシピの展示と配布.....	62

【教育委員会総務課】(3)	
食に関する情報提供.....	63
地産地消の推進.....	64
行事食と郷土食の提供.....	65

【生涯学習課】(1)	
さつまいもほり体験.....	66

【政策推進課】(1)	
新前橋商工会×赤城の恵み	
スタンプラリー.....	67

【学校教育課】(1)	
おはしの教室.....	68

**食の安全・安心を「まもる」** 3事業

**【衛生検査課】（2）**

給食施設巡回指導及び研修会.....69

食品衛生講習会.....70

**【防災機器管理課】（1）**

非常用食料の備蓄.....71

# 事業実績シート

取組の名称		9～10か月児健診（個別健診）	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる ■まもる	
	目的	身体発育および精神発達の面から重要な時期とされる9～10か月の時点において健康診査を実施することにより、疾病や異常を早期発見し、健全な発達・発育をもたらすために適切な指導および治療等を行い、乳児の健康の保持増進を図ることを目的とします。	
	対象者	満9～10か月児（生後9か月以上1歳未満）	
	実施方法内容	前橋市医療機関（小児科）へ委託し、身体、発達等の健康診査を行います。健診の結果から支援が必要な児に対しては、内容に合わせて地区担当保健師やその他の専門職が対応しています。健診票で栄養相談の欄に記載がある児に対して、管理栄養士が電話連絡による相談を行っています。	
	連携団体等	前橋市医師会	
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日：4月～9月 回数： 人数：栄養相談 115人	下半期(予定) 実施日：10月～3月 回数： 人数：栄養相談 33人 (11月受診まで)
	期待される効果等	相談内容では、離乳食の量が増えない、よくかめていない、食べさせて良い食品が分からないなどがあげられ、月齢に合わせた進み方についての不安や悩みの軽減を図ります。今後の離乳食の進め方を提言することで、児に合わせた離乳の完了へ移行できるような支援に繋がっています。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		1歳6か月児健康診査	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	幼児初期の身体発育、精神発達の中で歩行や言語等発達の標識が得られる1歳6か月の時点において健康診査を実施することにより、運動機能、視聴覚等の障害、精神発達の遅滞等障害をもった児を早期に発見し、適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止するとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、幼児の栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図ります。	
	対象者	満1歳6か月児以上	
	実施方法内容	1 医師の診察による疾病の早期発見、発達の確認 2 歯科医師の口腔健康診査 3 保健師の保健指導 4 歯科衛生士の口腔衛生指導 5 管理栄養士の栄養指導 6 心理士の心理相談	
	連携団体等	前橋市医師会、前橋市歯科医師会、群馬県歯科衛生士会 前橋市保健推進員協議会	
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日:4月～9月 回数:18回 人数:栄養相談215人	下半期(予定) 実施日:10月～3月 回数:18回(予定9回を含む) 人数:栄養相談137人(12月まで)
	期待される効果等	栄養相談では、食事の摂取量、食事・栄養バランス、おやつ回数や内容、食事で気なることなどについて確認と相談をしています。 1歳6か月の頃は離乳食の完了の時期で、発育、発達段階に応じた望ましい食生活となるように実践を伴う内容を勧めるとともに、保護者へは生活リズムの基礎づくり(早起き、早寝、朝ごはん)の重要性の普及、啓発に努めています。また、保護者自身の食事も含めて、家族全体の食事の大切さを伝えています。	
	取組み様子・写真・イラスト・グラフ等(あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		2歳児歯科健康診査	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	幼児初期のむし歯の予防が大切な時期に歯科医師による口腔内の疾病または異常の早期発見、歯科衛生士による歯科保健指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図ることを目的とします。	
	対象者	満2歳児	
	実施方法 内容	<p>時間帯を分けて予約制で実施します。</p> <p>1 歯科医師の口腔健康診査 2 保健師の保健指導 3 歯科衛生士の口腔衛生指導 4 管理栄養士の栄養相談 5 心理士の心理相談</p> <p>相談内容に応じて個別に対応</p> <p>栄養相談の対象者全員に生活リズムやおやつ、飲み物に含まれる糖分についての資料を配布しています。フードモデルや配布資料を使用し、2歳児の食事の留意点を伝えます。</p>	
	連携団体等	前橋市歯科医師会、群馬県歯科衛生士会、前橋市保健推進員協議会	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:4月～9月 回数:12回 人数:栄養相談53人	下半期 実施日:10月～3月 回数:12回(予定6回を含む) 人数:35人(12月まで)
	期待される 効果等	<p>栄養相談内容は、食事の摂取量、食事や栄養バランスについて、牛乳・乳製品の量、野菜嫌い、偏食、メニュー、間食についての項目が多い傾向でした。悩みに応じた配布資料やレシピ提供を行い、不安や悩みの軽減を図ります。</p> <p>口や歯の発育、発達に合わせた食材や調理法から、噛めるようになることで「自ら食べる意欲」にもつながること、また、生活リズムの基礎づくり(早起き、早寝、朝ごはん)の大切さや、むし歯予防を含めた間食の役割等を保護者にお伝えしています。</p>	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		3歳児健康診査	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	幼児期において幼児の健康、発達の個人的差異が比較的明らかになり、保健・医療による対応の有無が、その後の成長に影響を及ぼす3歳児のすべてに対して健康診査を行います。視覚、聴覚、運動、発達等の心身障害、その他疾病及び異常を早期に発見し適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止するとともに、う歯の予防、発育、発達、栄養、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図ります。	
	対象者	満3歳児	
	実施方法内容	1 医師の診察による疾病の早期発見、身体及び精神面の発育状況の確認 2 歯科医師の口腔健康診査 3 保健師の保健指導 4 歯科衛生士による口腔衛生指導 5 管理栄養士の栄養指導 6 心理士の心理相談	
	連携団体等	前橋市医師会、前橋市歯科医師会、群馬県歯科衛生士会 前橋市保健推進員協議会	
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日：4～9月 回数：18回 人数：栄養相談110人	下半期 実施日：10月～3月 回数：18回(予定9回を含む) 人数：栄養相談69人(12月まで)
	期待される効果等	相談内容は食事の摂取量、間食、食事・栄養バランス、野菜嫌い、嗜好飲料、小食、むら食いについての順に多い傾向です。食品やお手伝いに興味を持ち、食育を始めるよい時期なので、食育につなげています。むし歯がある子どもに対して菓子類や嗜好飲料の摂取についての相談もあります。 好奇心や理解度を広げるこの時期に様々な食に関わる体験の環境を整えることで「食への意識」が養われ、「食を営む力」の基礎がつけられるということを保護者に認識してもらうことが重要です。 3歳児健診は、栄養士が関わる乳幼児期の最後の健診となるため、実物大のフードモデルの展示を行い、食事量やおやつの量の確認をしてもらい、健康的な食生活を送れるよう支援しています。	
	取組み様子・写真・イラスト・グラフ等(あれば)	 フードモデルの展示の様子	

# 事業実績シート

取組の名称		おくちげんき教室	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	保育所(園)、幼稚園、認定こども園の年少から年長の園児への正しい歯科知識の普及と歯みがきの習慣づけ、保護者や保育士に対して口腔衛生の意識と家庭での管理を高めさせることを目的に歯科指導を行います。	
	対象者	保育所(園)、幼稚園、認定こども園の入園児、保護者、職員、子育て支援センター利用の乳幼児及び保護者	
	実施方法内容	※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をとり実施 1 開催場所 市内各保育所(園)・幼稚園・認定こども園 子育て支援センター 2 従事者 歯科衛生士1~2名 必要に応じ保健師等(地区担当中心) 3 実施内容 紙芝居・エプロンシアター・おくちの体操・歯みがき指導・パンフレットの配布等、1クラス20分程度の講話と演習を行う。 また保護者に仕上げみがきの指導を行う。	
連携団体等	群馬県歯科衛生士会		
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日:5月~9月 回数:27回 人数:1,649人	下半期(予定) 実施日:10月~2月 回数:16回(予定10回含む) 人数:320人(12/14現在)
	期待される効果等	口腔疾患は全身疾患に繋がることから、乳幼児期の口腔衛生に対する意識を高めます。また毎食後の歯みがき、仕上げみがき、おやつ摂り方の周知をし、むし歯予防の知識を高めます。 かかりつけ歯科医院を持つことの重要性を乳幼児、保護者、保育士に周知していきます。	
	取組み様子・写真・イラスト・グラフ等(あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		オンライン教室 (離乳食講習会・ステップアップもぐもぐ教室)	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる ■まもる	
	目的	新型コロナウイルス感染拡大の防止として、Webによる在宅で参加できる健康教育として行います。『離乳食講習会』は離乳食の開始から月齢に合わせた内容や形態・進め方についての講話と、作り方などの動画を交えて伝えることにより、保護者が離乳食について不安を軽減できることを目的としています。7か月以降の『ステップアップもぐもぐ教室』では、離乳食とおくちの健康についての講話や動画、デモンストレーションなどを取り入れて、離乳食の進め方や口腔衛生の知識の普及も目的としています。問い合わせや質疑応答などで適切なアドバイスも行い、一方的な視聴だけの講座にならないように開催します。	
	対象者	満4か月～8か月になる第1子の保護者	
	実施方法内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事前に参加者へ教室の参加案内と資料を送付</li> <li>2 直前に希望者へ事前練習会開催 (Zoom 操作の確認、当日の注意事項など)</li> <li>3 オンライン講習会 (管理栄養士、歯科衛生士による講話、動画、人形を使ったデモンストレーション)</li> <li>4 終了後にアンケート実施</li> </ol>	
	連携団体等		
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日:4月～9月 回数:7回 ①離乳食講習会:3回 ②ステップアップもぐもぐ教室:4回 人数:①25人 ②14人	下半期 実施日:10月～3月 回数:7回(予定2回含む) ①離乳食講習会:4回 ②ステップアップもぐもぐ教室:3回 人数:①13人 ②10人(12月まで)
	期待される効果等	<p>離乳食を進めていく際の不安の軽減、調理技術の向上 月齢に合わせた食材の選び方やその調理方法の把握、調理形態の把握、食事の楽しさの増進、衛生面の意識の向上、口腔衛生の意識の向上</p> <p>在宅での受講により、新型コロナウイルス感染のリスクが軽減します。講話中は同じ参加者の声が聞こえないように設定しているので、お子さんが泣いてしまっても気兼ねなく参加していただけます。またお子さんと一緒に参加していることで、画面上で安否確認をすることもできます。 動画やデモンストレーションで講話の内容を確認するとともに、離乳食の開始、作り方、進め方、おくちのケアなどをお伝えすることができます。</p>	
	取組み様子・写真・イラスト・グラフ等(あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		すこやか健康教室（栄養）	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	妊産婦および乳幼児に対して、地域に出向き必要な指導および助言を行い、母子保健に関する知識の普及及び食育の推進を行います。	
	対象者	保育所（園）・育児サークル・自主グループ・地域の親子の集まりなど、親子に関する情報等を希望する団体	
	実施方法 内容	団体より依頼を受け、保健師、管理栄養士、保育士、歯科衛生士などの専門職が希望するテーマに合わせ、講話や個別相談を実施します。 管理栄養士の出勤は離乳食についての依頼が多く、フードモデルや手作りの媒体を確認することで、実際の食事を見直す機会にもなっています。 新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をとり短時間の実施なので、質問が多い場合は電話で対応しています。	
連携団体等			
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:4月～9月 回数:1回(オンライン) 人数:6人	下半期 実施日:10月～3月 回数:7回(予定2回含む) 人数:76人(11月実施まで)
	期待される 効果等	朝食の重要性、規則正しい食生活のリズムの確立、食事のバランスの確立、食事のマナー、食に関する知識の向上など 依頼内容や対象者に合わせた内容で講話ができるように、数種類の資料や媒体を使用しています。 新型コロナウイルスの感染状況に応じて、オンラインでも実施しました。状況に応じた対応をとることで、参加者の安心安全につながります。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		すこやか健康教室（歯科）	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	妊産婦および乳幼児に対して、地域に出向き必要な歯科講話・指導を行い、母子保健に関する知識の普及及び歯科保健の推進を行います。	
	対象者	保育所（園）・育児サークル・自主グループ・地域の親子の集まりなど、親子に関する情報等を希望する団体	
	実施方法 内 容	団体より依頼を受け、保健師、管理栄養士、保育士、歯科衛生士などの専門職が希望するテーマに合わせ、講話や個別相談を実施します。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をとり実施。 個別相談あり。口腔内非接触にて行います。その他質問がある場合は電話で対応。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:6月～9月 回数:3回 人数:35人	下半期（予定） 実施日:2月1日 永明公民館 回数:1回 人数:
	期待される 効果等	乳幼児期の口腔衛生に対する知識と意識の向上。 また毎食後の歯みがき、仕上げみがき、おやつ摂り方の周知をし、むし歯予防の知識を高めます。 また講話後は個別相談を実施しているため、月齢や状況に応じ相談・対応することができます。 かかりつけ歯科医院を持つことの重要性を乳幼児、保護者、保育士等に周知していきます。 依頼内容や対象者に合わせた内容で講話ができるように、数種類の資料や媒体を使用しています。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		ステップアップもぐもぐ教室	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる ■まもる	
	目的	離乳食を開始し進めていくに伴い不安を感じる保護者が多いため、悩みを軽減し、適切な離乳食が与えられるような知識や技術の普及啓発を行います。また、幅広い味覚の形成や咀嚼能力を獲得するための離乳食レシピ、生活リズム・むし歯予防・育児に関することなど具体的な情報交換を行うことで保護者同士の交流も目指します。	
	対象者	概ね満7か月の第1子とその保護者	
	実施方法内容	※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をして実施 1 歯科衛生士による講話「おうちのケアとむし歯予防」 2 管理栄養士による講話「7か月頃からの離乳食の進め方」 その他、離乳中期の離乳食メニューについてデモンストレーションの様子の写真を見せながら解説します。月齢別フードモデル・食具・災害に備えた非常食の展示と説明も行います。保護者同士の交流は行わず、アンケート用紙に質問を記入していただき、電話相談で対応しています。	
連携団体等			
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日:5月～9月 回数:6回 人数:62人	下半期 実施日:10月～3月 回数:5回(予定3回含む) 人数:26人(12月まで)
	期待される効果等	月齢や子どもの状況に合わせた離乳食の進め方に関する知識の普及、生活習慣の改善、調理技術の向上、衛生面の意識の向上、不安の軽減を行います。アンケートによると、その場で対応できる範囲で行う質疑応答が参考になったという感想も多く、一方的ではない対応が求められています。記入された質問では、食事量や内容、アレルギーの心配や育児用ミルクについてなど多岐にわたり、電話での対応や、その後に繋がる対応をしています。また、困りごとへの対策を講話に盛り込むようにし、レシピ集等作成した資料を配布しています。	
	取組み様子・写真・イラスト・グラフ等(あれば)	 <p style="text-align: center;">講話の様子</p>  <p style="text-align: center;">配布資料</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		にこにこ健康相談	担当課 <u>子育て支援課</u> 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	妊産婦および乳幼児の健康の保持増進のため、相談に応じ、必要な指導および助言を行い、母子保健に関する知識の普及及び母の不安軽減等の子育て支援を行うことを目的とします。	
	対象者	妊産婦および乳幼児の保護者	
	実施方法 内容	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、完全予約制で実施しています。 健康や育児上心配なことに対して、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、助産師、作業療法士が個別の相談を行います。 栄養相談については市管理栄養士、委託している管理栄養士が行います。 生後5か月から1歳6か月までの離乳食や2～3歳頃の幼児食のフードモデル、目安量の記載された資料等使用し、相談を行います。	
連携団体等	群馬県助産師会、群馬県歯科衛生士会 群馬県栄養士会地域活動事業部前橋栄養士グループ「たけのこの会」		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:4月～9月 回数:12回 人数:栄養相談93人	下半期 実施日:10月～3月 回数:12回(予定6回含む) 人数:栄養相談42人(12月まで)
	期待される 効果等	栄養相談は離乳中期から後期の相談が多く、離乳食の進んでいくことで増える悩みなどに応じています。 相談内容は、食事の摂取量、調理形態・固さ、たんぱく質食品、メニューについて、食事バランス、離乳食の始め方・進め方などが多い傾向でした。 離乳食や幼児食の目安量の把握、食事のバランス、個々の食べ方や月齢に応じた食品の固さ、生活リズムの確立、間食の必要性や内容についてお伝えし、保護者の不安を軽減するとともに、家族の食習慣などについても見直す契機とします。 また、他教室のお誘いや電話による相談及び訪問を行うことで、事後の支援を行います。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 	

# 事業実績シート

取組の名称		ハローベビークラス	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる ■まもる	
	目的	妊娠、出産、育児等に関する正しい知識を身につけることを目的とします。今年度から妊婦以外に家族1人まで参加を可能にして、家族が共通認識のもとによりよい生活が送れることも目的としています。	
	対象者	概ね妊娠5～9か月の安定期にある初妊婦	
	実施方法 内容	<p>妊娠・出産:助産師の講話「出産のイメージ作り、リラクゼーション他」          栄養・口腔:管理栄養士と歯科衛生士の講話「妊娠期の栄養とおくちの健康」          赤ちゃんのいる生活:保健師の講話「赤ちゃんとの生活について」          実習「沐浴、着替え、妊婦体験」</p> <p>栄養・口腔「妊娠期の栄養とおくちの健康」について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 歯科衛生士による講話「妊娠期のおくちについて」</li> <li>2 管理栄養士による講話「食生活を見直そう」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊産婦のための食生活指針や食事バランスガイドについて説明</li> <li>・フードモデルや嗜好品のエネルギー量と糖分量のサンプルなどを展示</li> <li>・1日の食事記録表の提出</li> </ul> </li> </ol> <p>個々の食事バランスの分析と指導コメント等を入れ、後日返却</p>	
	連携団体等	群馬県助産師会	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:4月～9月 回数:栄養・口腔の講座10回 人数:93組123人	下半期(予定) 実施日:10月～3月 回数:栄養・口腔の講座6回 (予定4回含む) 人数:21組25人(12月まで)
	期待される 効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体格区分別の推奨体重増加の把握</li> <li>・朝食の重要性、規則正しい生活リズムの確立</li> <li>・適正体重妊娠週数に応じた食事バランスや適量の把握 フードモデルを活用し、視覚的に目安量を理解していただきます。</li> <li>・食事記録から、実践への展開 個々の食事記録から過不足を確認し、食事のバランスを整え、適量を摂取していただき、妊娠中の健康管理の一助としていただきます。同伴の参加者にも希望により食事記録表を提出していただいて、食生活を見直していただいています。</li> <li>・間食についての正しい知識の習得、貧血予防、減塩に関する周知 アンケートの結果から参考になった項目は「食事のバランス」「1日の適量」「目安量の確認」「注意が必要な食品」などが多く、規則正しい食生活の重要性を認識し、考えて食べることを習得していただいています。家族の健康を意識づける契機になるように支援しています。</li> </ul>	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	  <p>食事記録票                      食事バランスガイドと食事分析結果票</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		プリミークラブ（未熟児親の会）	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	養育医療申請児等とその保護者を対象に、相談及び意見交流の場の提供を行い、前向きに育児をするための精神的支援を行っています。また、発育・発達面や育児面の経過観察及び助言・指導を行い、児の発達状況を適切に把握し支援すると共に保護者の不安解消を図ります。	
	対象者	養育医療申請児等とその保護者	
	実施方法 内容	保健師、保育士、管理栄養士、歯科衛生士が発育・発達面や育児面の経過観察及び助言・指導を行っています。全8回実施のうち、離乳食や幼児食に関する講話を1回、個別栄養相談は随時行います。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:5月～9月 回数:4回(うち栄養1回) 人数:栄養の回1人 (栄養相談延べ4人)	下半期 実施日:10月～1月 回数:4回 人数:栄養相談延べ2人(12月まで)
	期待される 効果等	お子さんに適した食事内容や形態の確認、食生活・生活習慣の改善など、不安の軽減を図ります。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

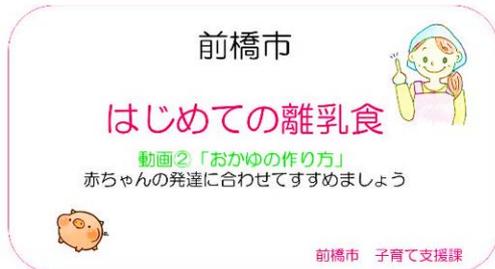
# 事業実績シート

取組の名称		窓口健康相談	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	妊産婦とその配偶者又は乳児、幼児の保護者に対して、妊娠、出産、育児に関する相談、離乳食・幼児食に関する栄養相談に応じ、育児不安の軽減を図ります。また妊娠の届出をした方に、母子健康手帳の交付とともにマタニティレシピを配布することを通じて、食生活の支援を行います。	
	対象者	妊産婦とその配偶者又は乳児、幼児の保護者	
	実施方法 内容	妊娠、出産、育児、離乳食、幼児食などに関する個別相談を行います。保健師や歯科衛生士の相談から連携して栄養相談を行います。妊娠の届出をした方に対してマタニティレシピを配布しています。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期
		実施日:4月～9月 人数:栄養相談16人	実施日:10月～3月 人数:栄養相談7人(12月まで)
	期待される 効果等	妊娠中の正しい食生活の確立、妊娠中のメニューの充実、産後の栄養・食生活に関する情報提供を行うことで、安心して妊娠、出産や育児を行うことができます。乳幼児の保護者に関しては、離乳食が進むにつれての離乳食への不安の軽減、幼児食についての悩みや不安の軽減を行います。また、保健師や歯科衛生士の健康相談と併せて対応することで、生活面や口腔との関連性を理解しながら改善することにつながります。	
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)			

# 事業実績シート

取組の名称		電話相談	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	電話において、妊産婦とその配偶者又は乳児、幼児の保護者に対して、妊娠、出産、育児に関する相談、離乳食・幼児食に関する栄養相談に応じ、育児不安の軽減を図ります。	
	対象者	妊産婦とその配偶者又は乳児、幼児の保護者	
	実施方法 内容	電話により健康や育児上心配なことに対して、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、作業療法士、助産師、心理士、保育士が個別の相談を行います。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:4月～9月 人数:栄養相談延べ329人	下半期(予定) 実施日:10月～3月 人数:栄養相談延べ74人(12月末まで)
	期待される 効果等	妊娠中の正しい食生活の確立、育児の不安軽減、産後の栄養・食生活に関する情報提供、離乳食が進むにつれての離乳食への不安の軽減、幼児食についての悩みや不安の軽減 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う外出自粛で市民の不安が多く、相談できるところがなく悩んでいる方が多い印象を受けました。不安を伴いやすい妊産婦や育児の悩みを抱えている保護者に対し、情報提供や相談を行い、いつでも相談できる体制の周知を図ります。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		「はじめての離乳食」動画配信	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる ■まもる	
	目的	離乳食を開始するにあたり、開始時期の目安、食べさせ方や量の変化などについてわかりやすく動画で伝えることにより、情報量が多い中でも保護者の不安を軽減します。また、コロナ禍において講習会に参加しない保護者に対する支援も目的としています。	
	対象者	満4～5か月になる第1子の保護者、家族など	
	実施方法 内容	市のYouTubeにて2本の動画を掲載しました。 「はじめての離乳食」 ① 離乳食の始め方 離乳の目的、開始時期の目安、食べさせる時のポイント、衛生面などについて ② おかゆの作り方 おかゆを作る方法、つぶし方、フリージングについて	
連携団体等			
実績	実施日 回数 人数等	上半期 視聴回数:8/20現在 ①1,330回 ②964回	下半期 視聴回数:12/27現在 ①1,525回 ②1,109回
	期待される 効果等	開始時期の見極められる、おかゆが作れる、形態を理解する、講習会に参加しなくても開始ができること  出生セットに動画の二次元コード付き日程表を同封し、早い時期から離乳食について関心をもつことで、適切な時期に開始することができます。 教室に参加する場合は保護者1人に限らせていただいておりますが、動画はいつでも、どこにいても視聴できるので、家族で共有し、同じ認識のもとに進めることができます。今後はたんぱく質食品の作り方の動画を配信し、家族で視聴できることを周知していく予定です。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; width: 45%;"> <p>前橋市</p> <p><b>はじめての離乳食</b></p> <p>動画①「始め方」 赤ちゃんの発達に合わせてすすめましょう</p>  <p>前橋市 子育て支援課</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; width: 45%;"> <p>前橋市</p> <p><b>はじめての離乳食</b></p> <p>動画②「おかゆの作り方」 赤ちゃんの発達に合わせてすすめましょう</p>  <p>前橋市 子育て支援課</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">サムネイル画像</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		訪問栄養指導	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる	
	目的	保護者の離乳食等に対する疑問や不安を解消するため、管理栄養士が家庭訪問し、栄養・食生活指導、調理に対する技術的指導、衛生管理に関する助言、アレルギーに関する助言、保護者の食習慣に関する助言等を行うことで、育児の不安を軽減し、乳幼児の健全な育成環境の支援を図ります。	
	対象者	乳幼児とその保護者	
	実施方法 内容	家庭訪問希望者、保健師からの依頼により、自宅に出向きます。 管理栄養士単独又は保健師との同行で家庭訪問に伺います。 調理に対する技術的指導、食事の内容、子どもの食べ方や保護者が与える様子を把握し、月齢や年齢、生活環境に応じた支援を行います。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて実施しています。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:4月～9月 回数:10回 人数:延べ22人	下半期(予定) 実施日:10月～3月 回数:4回 人数:9人(12月まで)
	期待される 効果等	食生活・生活習慣の改善、調理技術の向上、衛生面の意識の向上、育児に関する不安の軽減 相談内容 離乳食80% 幼児食20% 食べない悩みの場合は進み具合(食形状や調理法、味付け等)や食環境、食べさせ方からの具体的な助言や技術支援で食べるようになった等、訪問指導ならではの成果が上がっています。被訪問者は保護者が若年者、精神疾患者、外国人等と様々で複雑なケースがあり、新型コロナウイルス感染症の関係で外出自粛している中で育児支援に繋がっています。今後も保健師等と連携し、健康相談や健診事後等から対象者の把握に努め、タイムリーな離乳食指導等を通した子育て支援と食育の推進に努めていきます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	訪問の際に使用する資料の一部 	

# 事業実績シート

取組の名称		離乳食講習会	担当課 <u>子育て支援課</u> 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる	
	目的	離乳食の開始から、内容や形態、月齢に合わせた進め方について、講話や動画、デモンストレーションを交えて伝えることにより、離乳食について保護者の不安を軽減できるように適切なアドバイスを行うことを目的としています。	
	対象者	満4～5か月になる第1子の保護者	
	実施方法 内 容	※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をとり実施し、試食を行わず、展示品で対応しています。 1 離乳食に関する講話 2 野菜やたんぱく質食品のペーストの作り方、フリージングについての動画 3 手作り離乳食、ベビーフード、食具、月齢別フードモデル、災害に備えた非常食の展示説明 4 可能な範囲で個別相談を受け、それ以外は電話相談で対応	
連携団体等			
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:4月～9月 回数:6回 人数:89人	下半期 実施日:10月～3月 回数:5回(予定2回含む) 人数:41人(12月まで)
	期待される 効果等	離乳食に対する不安を軽減して開始できること、月齢に合わせた食材の選び方やその調理方法の把握、調理形態の把握、食事の楽しさの増進、衛生面の意識の向上。  市のHPに動画「はじめての離乳食」を掲載しており、参加者に予め事前に動画を観てきていただいています。開始の目安やポイント、おかゆの作り方について学ぶことができ、講習会ではそれ以外の部分をより詳しくお伝えすることができます。実際に離乳食が始まり、進むにつれて不安を抱える保護者も多く、適切な離乳食が与えられるような知識や技術を普及啓発する必要性があり、特に不安を抱える保護者に対しては電話相談だけでなく、必要に応じて訪問も実施し、継続支援も行っています。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>講習会の様子</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		栄養業務従事者研修会の開催	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる ■まもる	
	目的	<p>健康相談や訪問栄養指導を行う管理栄養士や保健師、助産師など専門職の知識の向上を目的に研修会を開催しました。</p> <p>1 ベビーフードに関する研修 離乳食の相談において、市販のベビーフードの利用が増えていることや、幅広い商品が出回っている現状がうかがえます。保護者の生活スタイルに即した支援を行うために、調理技術の向上だけでなく、ベビーフードについての認識を深めることで、より適切なアドバイスを行うことを目的とします。</p> <p>2 妊産婦のための食生活指針の改定に関する研修 改定されたことの背景を理解し、妊娠前からの支援に繋げることを目的とします。 また、共通認識のもと栄養相談ができるように、健康相談事業に業務委託している前橋栄養士グループの会員も対象としました。</p>	
	対象者	子育て支援課管理栄養士、保健師、助産師等 委託先の前橋栄養士グループ「たけのこの会」会員で健康相談事業に従事している管理栄養士	
	実施方法内容	<p>1 ベビーフードに関する研修（6月）</p> <p>①にこにこ健康相談における栄養相談の現状</p> <p>②ベビーフードについての説明と試食 （展示品の入れ替えに伴う賞味期限に近い商品等を活用）</p> <p>③形態や味付け、応用の可否など利用方法についての意見交換</p> <p>2 妊産婦のための食生活指針の改定について栄養セミナーの受講（10月） 6月研修会の報告</p>	
	連携団体等		
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日:6月15日、16日 回数:2回 人数:24人	下半期 実施日:10月11日 回数:1回 人数:18人
	期待される効果等	<p>保護者の離乳食に対する認識を広げて不安を軽減、月齢に合わせた食材の選び方やその活用、調理形態の把握、衛生面の意識の向上。 妊産婦の食生活・体重増加についての認識の向上。</p> <p>今後も研鑽を積み、食の基本を伝えながら多様化する食生活に寄り添った支援に努めます。</p>	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		介護予防サポーター養成研修・活動支援	担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133
概要	基本目標	■つくる □はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	介護予防を実践できる人材の育成。介護予防サポーターは、食に関するボランティアとしての役割も担っており、スキルアップ研修等の機会を捉え、栄養・食生活に関する知識の普及・啓発し活動を支援します。	
	対象者	概ね60歳以上の市民	
	実施方法 内容	介護予防サポーター養成研修(初級・中級)において、栄養・食生活に関する講話を行うほか、登録しているサポーターへのスキルアップ研修などを行い、活動を支援していきます。今年度は会場、オンライン、録画での4会場での開催となりました。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期(予定)
		実施日:①初級7/16・17 ②フレイル予防9/17 回数:①各1回 ②1回 人数:①54人 ②7人	実施日:中上級10/18 回数:1回 人数:47人
	期待される 効果等	サポーター自身の栄養・食生活の見直し実践につながるだけでなく、サポーターが得た知識を地域住民に普及することも期待できます。	
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)			

# 事業実績シート

取組の名称		各種介護予防教室での栄養講話及び個別相談	担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133
概要	基本目標	■つくる □はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	高齢者の健康の保持・増進、疾病予防、意識の啓発等を図ることにより、要介護状態に陥ることを予防し、健やかで活力ある自立した生活を継続して送ることができるよう支援することを目的とした各種介護予防教室において栄養・食生活に関する講話を行い、また、希望者には個別相談を受け付けることで、参加者の取り組みを促し、教室の目的達成に寄与することを目的とします。	
	対象者	65歳以上の市民	
	実施方法 内 容	他職種が中心となり行う介護予防教室において栄養講話を行い、食に関する介護予防の取り組みを促しています。必要に応じて、個別に食べ方のアドバイスをしています。 実施教室 ・歩行動作軽やかスクール ・脳力アップチャレンジ ・筋トレ教室 ・アクティブライフ講座	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期(予定)
		実施日:4~9月 軽すく0回・脳チャレ2回・ 筋トレ1回・アクティブ1回 回数:4回(栄養講話の回) 人数:延べ40人 個別相談:4人	実施日:10~3月 軽すく2回(予定)・脳チャレ2回(予定)・ 筋トレ1回・アクティブ1回(予定) 回数:6回(予定) 人数:延べ40人(未実施除く) 個別相談:2回実施 延べ4人
	期待される 効果等	教室参加のきっかけが、運動機能の維持や認知症予防などである参加者に対し、栄養・食生活を整えることの大切さやその手立てを伝えることで、食が関連することの理解と関心を高め、取り組みを促す機会になっています。	
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)			

# 事業実績シート

取組の名称		嚙む力をはぐくむ教室	担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133
概要	基本目標	■つくる □はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	嚙む力をはぐくむために必要な口腔ケアに関する講話や実習を行い、自ら実践する方法を身につけ家庭での実践につなげることを目的とします。	
	対象者	65歳以上の市民	
	実施方法内容	地域の公民館等を会場実施。歯科衛生士によるオーラルフレイル予防を中心とした講話や顔面体操、管理栄養士による講話を行います。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、歯磨きの実技を動画視聴にしています。	
連携団体等			
実績	実施日回数人数等	上半期	下半期(予定)
		実施日:6/22 回数:1回 人数:3人	実施日:12/21・3/2(予定) 回数:2回(予定) 人数:12/21 12人
	期待される効果等	前橋市における介護予防の合言葉である「動いて・食べて・磨いて元気」のうち、食べて・磨いての実践につなげる手立てとなるよう口腔ケアの実技を中心としたプログラムであり、家庭での取り組みによる口腔機能の維持が期待できます。	
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)			

# 事業実績シート

取組の名称		健康教育		担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133	
概要	基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> つくる <input type="checkbox"/> はぐくむ <input type="checkbox"/> つたえる <input type="checkbox"/> まもる			
	目的	健康や疾病等に関する情報、知識等を提供するとともに、高齢者の心身の状態に応じて助言等を行うことにより、高齢者の健康の保持・増進、疾病予防、意識の啓発等を測り、要介護状態に陥ることを予防し、健やかで活力ある自立した生活を継続して送ることができるよう支援することを目的とします。			
	対象者	65歳以上の市民			
	実施方法 内容	健康・疾病・介護予防等に関する講演等を行い、適宜個別相談に応じます。 ●老人福祉センターにおいて定例で行うもの ●ふれあいいいききサロン等団体からの依頼をもとに地区公民館等に出向くもの（健康教育）			
	連携団体等	老人福祉センター			
実績	実施日 回数 人数等	上半期		下半期(1月12日現在)	
		老セン 回数: 7回 人数: 93人 個別相談: 9人	健康教育(栄養の 講話を含むもの) 回数: 5回 人数: 126人	老セン 回数: 9回 人数: 126人 個別相談: 9人	健康教育(栄養の 講話を含むもの) 回数: 7回 人数: 177人
	期待される 効果等	老人福祉センターにおいては年間を通して定期的に行うため、季節の話題や時事を織り交ぜた情報提供や知識の普及を行っています。団体からの依頼については、高齢期の栄養課題である低栄養予防を中心に知識の普及と実践の促しをしており、自立した生活の継続につながると考えられます。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)					

# 事業実績シート

取組の名称		訪問栄養指導	担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133
概要	基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> つくる <input type="checkbox"/> はぐくむ <input type="checkbox"/> つたえる <input type="checkbox"/> まもる	
	目的	高齢者が要支援・要介護状態に重症化することを予防し、住み慣れた家や地域で自立した生活が継続できるように支援します。	
	対象者	65歳以上の市民	
	実施方法 内 容	<p>対象者の自宅へ訪問し、高齢者の心身の状態、食生活状況に応じて個別に栄養・食生活の助言を行う他、必要に応じ調理実習を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者を限定しない一般訪問栄養指導 対象者や担当者等からの依頼により訪問。内容や回数は対象者に応じて行う</li> <li>●要支援認定者と事業対象者を対象とした訪問型サービスC 概ね3か月を支援期間とし、回数は対象者に応じて決める</li> <li>●高齢者配食サービス利用者のうち低栄養を理由とする者への訪問 低栄養となった理由、配食利用後の変化等について確認し、必要に応じてアドバイスを行う</li> <li>●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施のハイリスクアプローチとして、低栄養のリスク(BMI18.5以上20.0以下、かつ前年度健診より2kg以上の体重減少のある対象者を抽出し、保健師及び管理栄養士等専門職による訪問指導等を実施する</li> </ul>	
	連携団体等	地域包括支援センター、ケアマネジャー	
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期(1/12現在)
		人数:延べ46人	人数:延べ22人
	期待される 効果等	<p>一般と訪問Cは、個々の課題に対応した支援を行うことにより、低栄養や疾病の重症化予防、食事準備能力の維持につなげることが期待できます。</p> <p>配食低栄養訪問は、喫食状況や生活活動状況などの確認により実態を把握するとともに、食事摂取の助言を通して低栄養の改善につなげることが期待できます。</p> <p>一体的実施のハイリスクアプローチは、BMIが18.5に近づきつつある対象者に対し早めに介入を行うことにより、低栄養の予防につなげることが期待できます。</p>	
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)			



# 事業実績シート

取組の名称		介護食講習会	担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133
概要	基本目標	■つくる □はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	口腔機能の低下がみられる高齢者を在宅で介護している家族を対象に、介護食の作り方や工夫について調理の実演を通して伝達し、低栄養予防の手立てとなることを目的とします。	
	対象者	家庭で高齢者家族の介護をしている人	
	実施方法 内 容	口腔機能の低下がみられる場合の食材の扱い方、調理の仕方についての講話と実演を行います。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期(予定)
		実施日: 回数: 人数:	実施日:10/20 回数:1回 人数:8人
	期待される 効果等	食事は栄養摂取の手段であるとともに楽しみのひとつでもあります。対象者に適した形態の食事提供は低栄養予防の手立てになるとともに、食べる喜びをはぐくむことも期待できます。また、参加者を家族の介護をしている人を対象としており、参加者同士の交流の場としての機能も期待されます。	
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)			

# 事業実績シート

取組の名称		からだ健やか栄養講座	担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133
概要	基本目標	■つくる □はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	高齢者の健康の保持・増進、疾病予防等の啓発を図ることにより要介護状態に陥ることを予防し、健やかで活力ある自立した生活を送ることができるようにしていくために、栄養・食生活を整えることの大切さや手立てを伝え、食が関連することの理解と関心を高め、自ら実践することにつなげることを目的としています。	
	対象者	市内在住の65歳以上の方	
	実施方法 内 容	高齢者の食生活の基礎知識について講話を行います。また、各参加者に食事記録をつけてもらい、別日に個別に相談やアドバイスを行いました。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期（予定）
		実施日： 回数： 人数：	実施日：11/19 回数：1回 人数：12人
	期待される 効果等	集団への講話に加えて、個々の食習慣に応じたアドバイスを行ったことにより、参加者自らが実践することにつなげることができると期待できます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		特定保健指導 フードモデル及び食育タペストリー展示	担当課 国民健康保険課 問い合わせ先 027-220-5715
概要	基本目標	■つくる □はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	特定保健指導の際に、参加者が食事バランスや食事の適量を学ぶことで、食生活を見直し、健康を自己管理していく力を育むことを目標とします。また、食生活を含む生活習慣の見直しにより健診結果の改善を目指します。	
	対象者	40歳から74歳までの被保険者で特定保健指導基準該当者	
	実施方法内容	前橋市国保特定健康診査を受診し、腹囲・血液検査などの結果から特定保健指導対象となった方のうち、利用希望者に対し、管理栄養士・保健師が生活改善に向けたアドバイス・支援を行います。 前橋市国保特定保健指導は、保健指導室が行う直営と医療機関等が行う委託があります。 直営の保健指導では、R3から面談実施時に、フードモデルや食育タペストリーの展示やレシピ提供を行い、食べ方等のフォローを実施しています。	
	連携団体等	特定保健指導が可能な医療機関（委託）、健康増進課	
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日:(直営)個別 通年 人数:171人(4~9月実施分)	下半期(予定) 実施日:(直営)個別 通年 人数:136人(9~12月実施分)
	期待される効果等	食事に対する意識の向上、食生活・生活習慣の改善、健診結果の改善、健康増進	
	取組み様子・写真・イラスト・グラフ等(あれば)	 <p>フードモデル及び食育タペストリー展示の様子</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 (糖尿病性腎症重症化予防事業)	担当課 国民健康保険課 問い合わせ先 027-220-5715
概要	基本目標	■つくる □はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムの対象基準により抽出された後期高齢者を対象に、保健師・管理栄養士が家庭訪問をしてアセスメント、受診確認(勧奨)、個人目標の確認および評価を行うことで糖尿病の重症化を予防し、生活習慣の改善、QOLの向上を目的とします。	
	対象者	群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムの対象基準により抽出された後期高齢者(80歳以下、介護1~5は除く)	
	実施方法 内 容	R2 年度健診結果データから対象者を抽出し、保健師・管理栄養士が家庭訪問(3回)をし、アセスメントを行い、受診状況および生活習慣の確認をします。必要に応じて保健指導・栄養指導を行い、個人目標を設定します。3回目の訪問後、最終評価を行います。栄養指導に関しては、食事のバランスおよび菓子嗜好飲料のエネルギーの一覧表のチラシを配布し、食習慣の改善および糖質の多い食品の認識を高め、糖尿病性腎症重症化予防を目指します。	
	連携団体等	健康増進課	
実績	実施日 人数等	上半期 実施日:7月~9月 人数:21人 (初回面談:訪問、中間評価:訪問 または電話)	下半期 実施日:10月 人数:17人 (最終評価:訪問または電話)
	期待される 効果等	糖尿病性腎症重症化予防、食事に対する意識の向上、食生活・生活習慣の改善、健診結果の改善、健康増進	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	  	
		訪問時の様子	個人目標設定シート

# 事業実績シート

取組の名称		特定健診時および事後における情報提供	担当課 国民健康保険課 問い合わせ先 027-220-5715
概要	基本目標	■つくる □はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	前橋市国保加入者の集団健診（総合健診含む）受診者に対し、生活習慣病と食事に関する情報提供を行い、自身の食事について関心を持ち、見直しや改善の取組を促します。	
	対象者	40歳から74歳までの被保険者で集団での特定健診を受診した人	
	実施方法内容	集団健診の委託先(群馬県健康づくり財団、JA 群馬厚生連)と連携し、地区集団健診及び総合健診の健診時に、血圧が高かった人に高血圧予防の生活習慣や食生活のポイントのチラシを渡しています。また、結果郵送時に糖尿病性腎臓病に関連する食生活のポイントのチラシを同封し、情報提供を行っています。	
連携団体等	群馬県健康づくり財団、JA 群馬厚生連		
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日:6~9月 回数:25回 人数:936人	下半期 実施日:10~12月 回数:7回 人数:516人
	期待される効果等	食への知識と関心の向上、食生活・生活習慣の改善、健康増進	
	取組み様子・写真・イラスト・グラフ等(あれば)		
	健診時チラシ	結果郵送時チラシ	

# 事業実績シート

取組の名称		健診時当日の特定保健指導（初回分割）	担当課 国民健康保険課 問い合わせ先 027-220-5715
概要	基本目標	■つくる □はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	健診日当日に特定保健指導を行うことで、健康意識が高まっている時に働きかけることができます。受診者にとっても利便性がよいため、効率よく生活習慣の改善につなげていきます。	
	対象者	総合健診受診者	
	実施方法 内容	総合健診当日に腹囲（またはBMI）、血圧、服薬なしの抽出基準で対象になった受診者に特定保健指導の初回面接①を実施。健診結果が判明後、初回面接②を実施し、行動目標等を決定します。	
	連携団体等	群馬県健康づくり財団、JA 群馬厚生連	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：7月18日（JA、財団） 9月12日（JA） 人数：23人	下半期 実施日：10月2日、11月21日（財団） 12月4日（JA） 12月19日（JA、財団） 人数：51人
	期待される 効果等	食生活・生活習慣の改善、健診結果の改善、健康増進	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）	 <p>行動目標設定シート</p>	
		 <p>初回面接会場の様子</p>	

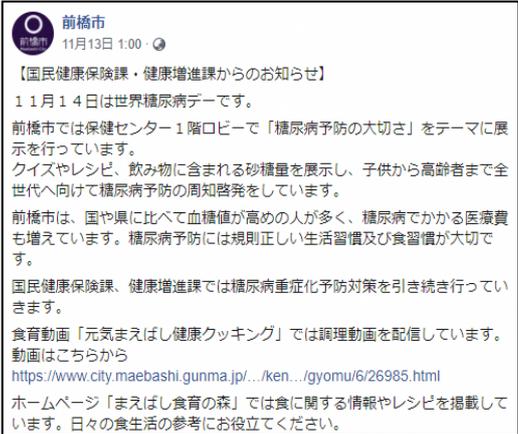
# 事業実績シート

取組の名称		食に関する正しい情報及び知識の情報発信	担当課 国民健康保険課 問い合わせ先 027-220-5715
概要	基本目標	■つくる □はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	情報化社会が発達し、TVや新聞だけでなく、SNS等でも様々な栄養情報があふれています。ホームページやSNSを利用し、食に関する正しい情報及び知識を情報発信することにより、生活習慣病予防のための食生活改善につなげていきます。	
	対象者	40歳から74歳までの被保険者で特定保健指導基準該当者	
	実施方法内容	1～2か月に1回の頻度で、食や栄養に関するテーマのチラシを作成し、前橋市ホームページとFacebookにて周知します。 また、必要に応じて特定保健指導時に配付し、食生活改善に役立てていただきます。	
	連携団体等		
実績	実施日回数人数等	上半期 実施内容 6月 脂質のとり方 7月 アイスの世界 9月 野菜は350g	下半期(予定) 実施内容 10月 果物ランキング 11月 たんぱく質のとり方 1月 牛乳 vs 豆乳 3月 知って得する表示
	期待される効果等	食事に対する意識の向上、食生活・生活習慣の改善、健診結果の改善、健康増進	
	取組み様子・写真・イラスト・グラフ等(あれば)	 <p>前橋市ホームページ これホント?食のギモンにお答えします</p>  <p>チラシ「第1回 脂質のとり方」</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		特定保健指導用媒体作成	担当課 国民健康保険課 問い合わせ先 027-220-5715
概要	基本目標	■つくる □はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	特定保健指導の際に1日に減らすエネルギー量の目安として、菓子・嗜好飲料のエネルギー量、また消費エネルギー量が分かる運動情報を掲載した媒体を作成し、生活習慣病予防のための生活習慣かつ食生活改善につなげることを目的とします。	
	対象者	特定保健指導対象者	
	実施方法内容	特定保健指導時によく聞かれる菓子・嗜好飲料を選出し、その食品の80kcal量の実物写真と栄養成分表示、また運動情報として、80kcalを消費する生活活動と時間数を表示する資料を作成しました。 目標減量体重及び行動目標を決める際の栄養媒体として使用します。可視化することにより、菓子・嗜好飲料の量の確認や目標を立てる際の目安とします。	
	連携団体等		
実績	実施日回数人数等	上半期	下半期
	期待される効果等	食事に対する意識の向上、食生活・生活習慣の改善、健診結果の改善、健康増進	
	取組み様子・写真・イラスト・グラフ等(あれば)		
	実際の栄養媒体(表紙及び内容)		

# 事業実績シート

取組の名称		ショーケースを利用した食育展示及びSNSによる情報提供	担当課 国民健康保険課 問い合わせ先 027-220-5715
概要	基本目標	■つくる □はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	前橋市の健康課題として、糖尿病・腎臓病有所見者が増えています。健康増進課と連携して、全世代に向けて糖尿病や腎臓病に関する正しい知識の普及を行い、市民の健康寿命の延伸につなげます。	
	対象者	全世代の市民	
	実施方法 内 容	前橋市保健センター1階ショーケースを利用して、全世代に向けた糖尿病や腎臓病を予防する食事についての展示や資料配布をします。また前橋市公式Facebookにて、情報発信を行い、より多くの市民へ啓発を行います。 11～1月：糖尿病に関する展示 病態、本市の状況、クイズ、食品中の糖質、レシピ等の展示 世界糖尿病デー(11/14)にFacebookで情報発信 2～3月：腎臓病に関する展示 病態、腎臓を守る食事について、減塩の工夫、レシピ等の展示 世界腎臓病デー(3/10)にFacebookで情報発信	
	連携団体等	健康増進課	
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期(予定)
	期待される 効果等	食事に対する意識の向上、食生活・生活習慣の改善、健診結果の改善、健康増進	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>世界糖尿病デー展示の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Facebook 投稿記事</p> </div> </div>	

# 事業実績シート

取組の名称		からだに美味しい食講座	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる	
	目的	健康的な食生活が送れるよう、食に関する正しい知識の普及を図り、生活習慣病の予防につなげるとともに、食育を普及します。	
	対象者	市民	
	実施方法 内 容	食に関する講話 <テーマ> 第1回、2回 知って得する！野菜の魅力 第3回、4回 無理なくできる減塩のワンポイント 第5回、6回 基本の食事で免疫力アップ	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4月～9月 回数：1回(第2回、3回は中止) 人数：第1回 11人	下半期(予定) 実施日：10月～3月 回数：2回(第6回は中止) 人数：第4回 11人 第5回 10人
	期待される 効果等	テーマに応じた講話を実施することで、食事の基本やバランスよく食べることの必要性について学ぶことができます。今年度も感染症対策のため、調理実習は実施せず、講話のみの開催となりましたが、講話を通じて食生活の見直しや改善に役立つ情報を提供することで、食事の面から生活習慣病予防に向けた意識づけや取組につながることを期待できます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>講話の様子</p> <div data-bbox="959 1491 1342 1776" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>からだに美味しい食講座</p> <p>無理なくできる 減塩のワンポイント</p>  </div> <div data-bbox="1067 1688 1453 1973" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>からだに美味しい食講座</p> <p>基本の食事で 免疫力アップ!</p> <p style="text-align: right;">前橋市保健センター</p> </div>	

# 事業実績シート

取組の名称		前橋市食生活改善推進員協議会事業	担当課 <u>健康増進課</u> 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる	
	目的	「健康まえばし21(第2次計画)」「元気まえばし食育プラン(第3次前橋市食育推進計画)」において、野菜摂取をこころがけ、バランスの良い食事を規則正しく食べる習慣を身につけることを目標としており、前橋市食生活改善推進員協議会の会員が市民に対し、市民が健康的な食生活が送れるように食に関する情報を周知します。	
	対象者	市民	
	実施方法内容	<p>【はっぴい健康クッキング】 テーマを「若いころからの骨づくり大作戦!」とし、各公民館等で市健康増進課の管理栄養士による講話と食生活改善推進員によるレシピの説明を行います。教室が開催できない地区は、教室参加予定者に家庭訪問により資料の説明を行います。</p> <p>【おやこの食育教室】 年長から小学生のお子さんがあるご家庭に、食育5つの力をテーマに食に関する資料とお勧めメニューをご家庭や学校を通して配布します。</p> <p>【減塩普及活動】 減塩に関する情報を公民館等で啓発又はご家庭に資料を配布し、周知を行います。</p>	
連携団体等			
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日:はっぴい健康クッキング 回数:5地区 人数:80人 実施日:おやこの食育教室 回数:6地区 人数:330人 実施日:減塩普及活動 回数:3地区 人数:89人	下半期(予定) 実施日:はっぴい健康クッキング 回数:15地区 人数:95人 実施日:おやこの食育教室 回数:16地区 人数:575人 実施日:減塩普及活動 回数:7地区 人数:98人
	期待される効果等	<p>【はっぴい健康クッキング】 骨粗鬆症に関する知識の普及と食事のバランスを整え、カルシウムを効果的に摂取する方法を習得します。</p> <p>【おやこの食育教室】 子どもにとって幼少期から小学校低学年は、人格形成に最も大切な時期であり味覚を始め豊かな感性を培われ、心と体のバランスのとれた人格を育てるとも言われています。食の大切さを知り、主食、主菜、副菜の組み合わせを知ることによって生涯健康ですごすための食生活を送ることができます。</p> <p>【減塩普及活動】 自身がどのくらい塩分を摂取しているか、摂りすぎると身体にどう影響を及ぼすかを理解し、生活の中で減塩を心がけ、摂取する塩分量を減らします。</p>	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>おやこのメニュー (一部)</p> </div> </div>	

# 事業実績シート

取組の名称		ウエルネス通信	担当課 <u>健康増進課</u> 問い合わせ先 027-220-5783																								
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる																									
	目的	働き世代への健康づくりの働きかけが必要とされています。市と企業が連携して健康づくりを推進するウエルネス企業。栄養情報と旬の野菜を使ったレシピを配信します。																									
	対象者	まえばしウエルネス企業 285企業																									
	実施方法 内 容	「まえばしウエルネス企業」に栄養情報と旬の野菜レシピの発信をメールと郵送で行いました。																									
	連携団体等																										
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:5、8月 回数:2回	下半期(予定) 実施日:11、2月 回数:2回																								
	期待される 効果等	職場において栄養・食生活等に関する情報が提供され、働き世代の生活習慣病予防や食育の周知につながります。																									
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	<p>令和3年度 ウエルネス通信 11月号 からだに優しい減塩生活のすすめ</p> <p>おうち時間が長くなった今、家庭で食事を食べる機会は増えていきますか？ぜひこの機会を、日頃の食事に向き合うチャンスにしてみるのはいかがでしょうか。今回のテーマは「減塩」です。食塩は食材や料理の味を良くしてくれる調味料ですが、量を多くとってしまうと病気を引き起こしてしまいます。これからは減塩の時代です！！からのため、減塩生活を始めてみましょう。</p> <p><b>減塩は健康のための第一歩！！</b></p> <p>1日あたりの食塩摂取量の目標量(18歳以上)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標量</td> <td>7.5g未満</td> <td>6.5g未満</td> </tr> <tr> <td>全国実数</td> <td>10.9g/日</td> <td>9.3g/日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3年度国民健康・栄養調査結果より 男女とも約3gとりすぎだこら。</p> <p><b>食塩のとり過ぎと、病気の関係</b></p> <p>食塩のとり過ぎは、高血圧につながります。高血圧が長く続くと、血管が痛んで動脈硬化が進みます。動脈硬化が進むと、脳卒中や心臓病、腎不全などの病気を引き起こす原因となります。</p> <p><b>普段の食事で食塩ってどのくらいとってる？</b></p> <p>～大人の1日の食事～</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>朝食</th> <th>昼食</th> <th>夕食</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0g</td> <td>3.6g</td> <td>6.0g</td> <td>13.6g</td> </tr> </tbody> </table> <p>朝食: トースト(バター)、ムスメ、サラダ(ドレッシング)、コンソメ      昼食: 鮭弁当      夕食: かつお節、天ぷら盛り合わせ、お豆腐</p> <p>～食塩量を減らす食べ方～簡単減塩方法～</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>朝食</th> <th>昼食</th> <th>夕食</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.1g</td> <td>2.2g</td> <td>3.1g</td> <td>7.4g</td> </tr> </tbody> </table> <p>朝食: バターをひきとる、ムスメを半量にする、コンソメを半量にする (-1.9g)      昼食: 梅干しと漬物を挟む (-1.4g)      夕食: かつお節をひきとる、天ぷら(むね)をかき、漬物を減らす (-1.7g)</p> <p>健康に関するご相談は、保健師・管理栄養士・歯科衛生士へお気軽にご相談ください。      【連絡先】 前橋市保健センター内 健康増進課 TEL 027-220-5708 / FAX 027-223-8849</p>			男性	女性	目標量	7.5g未満	6.5g未満	全国実数	10.9g/日	9.3g/日	朝食	昼食	夕食	合計	4.0g	3.6g	6.0g	13.6g	朝食	昼食	夕食	合計	2.1g	2.2g	3.1g
	男性	女性																									
目標量	7.5g未満	6.5g未満																									
全国実数	10.9g/日	9.3g/日																									
朝食	昼食	夕食	合計																								
4.0g	3.6g	6.0g	13.6g																								
朝食	昼食	夕食	合計																								
2.1g	2.2g	3.1g	7.4g																								

# 事業実績シート

取組の名称		若い世代への食育 大学生に向けた食育に関する情報提供	担当課 <u>健康増進課</u> 問い合わせ先 027-220-5783					
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる						
	目的	若い世代が将来の健康を意識し、生活習慣病予防のための食習慣の獲得を目的とします。						
	対象者	市内大学、専門学生 〈上半期〉群馬福祉医療大学、群馬県高等歯科衛生士学院(WEB)、 群馬大学保健学科(WEB) 〈下半期〉共愛学園前橋国際大学1~4年生(授業選択者)						
	実施方法 内容	〈上半期〉市内大学等に、食育についての講義を実施しました。 〈下半期〉共愛学園前橋国際大学と市の協働事業で、市が主催する講座「前橋を考える」の一環として実施しました。保健師、歯科衛生士、管理栄養士で実施し、がん検診、歯科、栄養・食生活等について講話を実施しました。						
	連携団体等	共愛学園前橋国際大学						
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:5~6月 回数:3回 人数:263人(合計)	下半期 実施日:11月26日(金) 回数:1回 人数:105人					
	期待される 効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の健康を意識する</li> <li>・食育に関心を持ち、自ら食生活の改善に取り組む</li> <li>・食に関する正しい知識の取得</li> </ul> <b>【受講後の感想】</b> 食事を改めて見直すきっかけになった、バランスの良い食事の大切さを知った等の意見が多数見られ、食に対する意識や知識の向上につながったと考えられます。						
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	提供資料(抜粋) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>3、栄養・食生活</b></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">主食・副菜・主菜とは？</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="background-color: #fff9c4;"><b>主食</b> </td> <td style="background-color: #e8f5e9;"><b>副菜</b> </td> <td style="background-color: #fce4ec;"><b>主菜</b> </td> </tr> <tr> <td>・炭水化物 エネルギー源</td> <td>・ビタミン ・ミネラル ・食物繊維 からだの調子を 整える</td> <td>・たんぱく質 ・脂質 筋肉など身体を つくるもと</td> </tr> </table> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>あなたは朝食を食べていますか？</b></p> <p>※1: 調査日 2019年10月10日(群馬県立健康福祉大学) 2020年10月10日(共愛学園前橋国際大学)</p> <p>朝食を食べない最大な理由</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 食べる時間がないから</li> <li>2 覚醒がないから</li> <li>3 食べる習慣がないから</li> </ol> </div>		<b>主食</b> 	<b>副菜</b> 	<b>主菜</b> 	・炭水化物 エネルギー源	・ビタミン ・ミネラル ・食物繊維 からだの調子を 整える
<b>主食</b> 	<b>副菜</b> 	<b>主菜</b> 						
・炭水化物 エネルギー源	・ビタミン ・ミネラル ・食物繊維 からだの調子を 整える	・たんぱく質 ・脂質 筋肉など身体を つくるもと						

# 事業実績シート

取組の名称		若い世代への食育 大学生に向けた食育に関する情報提供	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	若い世代が将来の健康を意識し、生活習慣病予防のための食習慣の獲得を目的とします。	
	対象者	群馬県立県民健康科学大学 看護学部3年生	
	実施方法 内 容	<p>上半期は新型コロナウイルス感染症予防のため、学生は大学で、職員はWEBでの参加形式で開催しました。下半期は対面で実施予定となっています。</p> <p>&lt;内容&gt; (上半期)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 食育について (歴史・経緯・法律)</li> <li>2 なぜ「食育」が大切なの？</li> <li>3 健全な食生活を実施するには <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝ごはん</li> <li>・バランスの良い食事</li> </ul> </li> </ol>	
連携団体等			
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:6月10日(木)9時~10時半 回数:1回 人数:85人	下半期(予定) 実施日:3月 回数:1回 人数:
	期待される 効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育に関心を持ち、自ら食生活の改善に取り組む</li> <li>・将来の健康を意識する</li> <li>・食に関する正しい知識の取得</li> </ul> <p>【授業後アンケート結果】 授業後のアンケートでは、「自身の食事を見直したい」「朝食・食育の重要性が理解できた」という意見が多数でした。そのほか、自分で食事作りをしようと思った、若い時からの食事は大事だと思った等、食に興味を持った学生が多数見られ、食生活を見直すきっかけや意識が高まったと考えられます。下半期には市の食育活動や栄養業務概要について講義する予定です。</p>	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	<p>提供資料(抜粋)</p> 	

# 事業実績シート

<p>取組の名称</p>	<p>歯科保健事業（成人歯科健康診査等）</p>		<p>担当課 <u>健康増進課</u> 問い合わせ先 027-220-5708</p>
<p>概要</p>	<p>基本目標</p>	<p>■つくる □はぐくむ □つたえる □まもる</p>	
	<p>目的</p>	<p>高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう、歯の喪失を予防するために成人歯科健康診査を実施しています。 また、歯と口腔の健康づくりを普及するため、健康教育・相談等を実施し、口腔ケア・口腔機能の維持向上を推進していきます。</p>	
	<p>対象者</p>	<p>小学生～高齢者まで</p>	
	<p>実施方法内容</p>	<p>■成人歯科健康診査 対象者：前橋市に住民登録のある20歳～70歳の5歳刻み年齢 健診内容：問診、口腔内診査 ■歯と口腔の健康づくりの普及 感染症対策を講じ、学校や地域団体等に模型での刷掃指導や講話を行います。 学齢期、青年期、壮年期、高齢期へのライフステージに合わせたセルフケアの方法や、定期的な歯科健診への受診勧奨を行います。</p>	
<p>連携団体等</p>	<p>前橋市歯科医師会、前橋市学校歯科医会、学校保健会、群馬県歯科衛生士会中央支部、群馬県歯科技工士会前橋地域</p>		
<p>実績</p>	<p>実施日回数人数等</p>	<p>上半期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人歯科健康診査(5月～2月)</li> <li>・健康増進歯科健康診査(8月～12月)</li> <li>・健康教育(いきいき健康教室、血糖値が気になる人の教室等)</li> <li>・健康まえばし21(歯と口腔の健康情報のちらしを各医療機関に配布依頼し、市民へ周知)</li> <li>・その他周知活動(5月:第一生命(株)と協力し、健診周知、6月:ウエルネス企業への情報提供、8月:協会けんぽ健診周知等)</li> </ul>	<p>下半期(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科相談(8月:スマイル健診)</li> <li>・周知活動(9月:大学への受診勧奨ポスター掲示、10月:新成人向け成人歯科健康診査受診勧奨周知チラシ)</li> <li>・歯科健康教育(11月:本庁等衛生委員会保育所部会委員及び保育所部会歯科講義、参加者28名)</li> <li>・市民健康講座 野村歯科医院 院長野村正広先生(11月:参加者25名)</li> <li>・前橋市職員歯科アンケート調査(1月実施予定)</li> </ul>
	<p>期待される効果等</p>	<p>口腔機能の維持向上(オーラルフレイル予防)、食習慣の改善、健康増進 早期からの定期的な歯科健診、毎日の歯間清掃用具の使用により、口腔内の健康を維持することにつながります。昨年度から引き続き、働き盛り世代への周知やスマイル健診受診者など個別受診勧奨に力を入れ、健診受診率及び、市民の口腔への健康意識の向上につながることが期待できます。</p>	
	<p>取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="443 1675 898 2065">  <p>成人歯科健康診査周知チラシ</p> </div> <div data-bbox="1010 1675 1453 2065">  <p>11月:市民健康講座の様子</p> </div> </div>	

# 事業実績シート

取組の名称		食育動画「元気まえばし 健康クッキング」 動画配信	担当課 <u>健康増進課</u> 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる ■まもる	
	目的	第3次前橋市食育推進計画の全体目標として掲げる「市民の健康寿命の延伸」を達成するため、食育動画を制作し、公式YouTubeで動画を配信しています。 なお、幼少期から高齢期まで幅広い年代を対象に本市の栄養課題である朝食欠食・野菜の摂取不足等をテーマとした内容となっており、多くの市民が食育に関心を持つことで一層の取り組みの展開を図ることを目的としています。	
	対象者	前橋市民	
	実施方法 内容	知って得する！野菜の魅力 ①5月 野菜のはたらき・アスチーパリパリまきの作り方 ②8月 野菜のなかま、黄金比・豚サラダ丼作り方 食事はバランスが大事！ ③10月 主食編・とんとんおにぎり ④1月 主菜編・鶏肉のピーナッツ炒め	
	連携団体等		
実施日 回数 人数等	上半期	下半期（予定）	
	実施日:8月27日現在の視聴回数 回数:①157回 ②91回 人数:	実施日:1月14日現在の視聴回数 回数:③113回 ④6回 人数:	
期待される 効果等	動画はオリジナルのキャラクターが誘導、世代を問わず視聴できます。野菜に関する知識を得て、野菜を使った料理を作ることで野菜摂取の増加につながる一助となることが期待できます。		
実績	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	①5月 	②8月 
		③10月 	④令和4年1月 

# 事業実績シート

取組の名称		野菜をもっと食べようキャンペーン	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783	
概要	基本目標	■つくる □はぐくむ □つたえる □まもる		
	目的	野菜を摂取することは糖尿病や高血圧症等の生活習慣病の予防に効果的です。「群馬県民健康・栄養調査」(平成28年度)によると、群馬県民の野菜摂取量の平均約275gで、どの年代も国が示す1日の目標値350gを下回っており、野菜摂取量の増加を勧めています。 そのため、まえばし健康づくり協力店登録店舗と連携し、店舗内で啓発事業を実施し、市民の野菜摂取量の増加及び食育への関心向上を目指しました。 また、野菜に関する調査を実施し、野菜摂取状況の把握を行いました。		
	対象者	市民及びスーパー利用者		
	実施方法 内 容	(1) 店舗内の野菜コーナーに野菜摂取のポップの掲示 (2) 管理栄養士による相談、野菜摂取調査、レシピ紹介 (3) 簡単にできる野菜料理を動画で紹介 (4) 親子野菜クイズラリー(小学生の親子を対象)		
	連携団体等	生鮮市場TOP ガーデン前橋店、前橋市食生活改善推進員協議会		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:実施なし 回数: 人数:	下半期(予定) 実施日:11月13日~11月19日 回数:上記の日程のうち調査とクイズは11月13日、14日※11月14日の「世界糖尿病デー」に合わせて実施 人数:野菜の調査86人回答、クイズ187人参加	
	期待される 効果等	○野菜摂取調査結果(一部抜粋) ・調査した方のうち97%は夕食に野菜料理を食べていましたが、朝食や昼食に野菜を摂取することが少ないことが課題であることが分かりました。 ・野菜をどのように食べるかについては「生野菜」「炒める」「茹でる」が上位を占め、1皿(70g)を増やすには「カット野菜や冷凍野菜の使用」「簡単に食べられるものを常備」「作り置き」であれば増やせるといった回答がありました。 ○店内のクイズを家族で話しながら回答し、野菜摂取のきっかけにつながることを期待できます。 ○期間終了後も野菜摂取のポップを掲示し続けたいとの店舗からの提案があり、野菜摂取の啓発の場の継続的な提供の協力を得ることができました。		
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)			野菜摂取に関する調査の様子 小学生やその家族

# 事業実績シート

取組の名称		いきいき健康教室（食生活に関する内容）	担当課 <u>健康増進課</u> 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる	
	目的	依頼があった保健所や学校、各種団体、企業、自治会などへ出向き、テーマの内容に沿った食生活の改善を支援します。出前講座を行うことで、日頃の食生活を見直す機会を増やし、食に関する正しい知識を普及します。	
	対象者	市民	
	実施方法 内 容	年代、テーマに沿った講話をスライドや媒体を使用して行います。 ＜テーマ＞ ・あなたの食事大丈夫？（食事のバランス・野菜摂取・減塩など） ・災害時の食と備蓄について考えよう ・こどもに伝えておきたい“食育”教室 ・おいしく食べて元気アップ	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 回数:1回 人数:22人	下半期(予定) 回数:3回 人数:66人
	期待される 効果等	食育の知識の向上、食育への関心の向上、食事のマナーの向上、食生活・生活習慣の改善、減塩意識の向上、 アンケート結果から新しい収穫があったという回答が多く、日頃健康に関する情報を得ているつもりでも実際には理解していないことが多いと感じられます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>チラシ</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		健康教育・相談	担当課 <u>健康増進課</u> 問い合わせ先 027-220-5783																																			
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる ■まもる																																				
	目的	他職種と連携を図り、各教室の内容に沿った食生活の改善を支援します。 また、食生活について不安に感じることや、疾病予防のための食事について市民からの相談に随時対応します。																																				
	対象者	成人、高齢者																																				
	実施方法 内 容		<上半期>	<下半期>																																		
			血糖値が気になる人の教室 月いち健康相談 窓口・電話による栄養相談 今日からできる骨貯金 女性のためのリラクゼーション講座 スマイル健診時の栄養相談	10人 3人 29人 8人 実施なし 61人	14人 7人 23人 8人 7人 実施なし																																	
連携団体等																																						
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期(予定)																																			
		実施日： 回数： 人数：	実施日： 回数： 人数：																																			
	期待される 効果等	食生活・生活習慣の改善、減塩意識の向上、野菜摂取量の増加  健康相談では、普段の食生活について不安を感じている人が多くみられますが、相談することで不安が軽減され、食生活改善への意識向上を期待できます。教室の参加者には各テーマに沿った食生活の改善支援をすることでテーマへの理解がより深まると期待できます。																																				
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	<p>&lt;食事記録表&gt; なるべく特製の日付欄に、日付を付けて1日食事内容を記入してください。</p> <p>1日の食事の時間単位を食べた時間(すべて、朝、昼、夕、夜)に分けて、<b>食料の種類</b>にご記入ください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時 間</th> <th>食 料 名</th> <th>品 名</th> <th>品 名</th> <th>品 名</th> <th>品 名</th> <th>品 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝 食</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中 食</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>夕 食</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>夜 食</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>提供資料(抜粋)</p>			時 間	食 料 名	品 名	品 名	品 名	品 名	品 名	朝 食							中 食							夕 食							夜 食						
時 間	食 料 名	品 名	品 名	品 名	品 名	品 名																																
朝 食																																						
中 食																																						
夕 食																																						
夜 食																																						

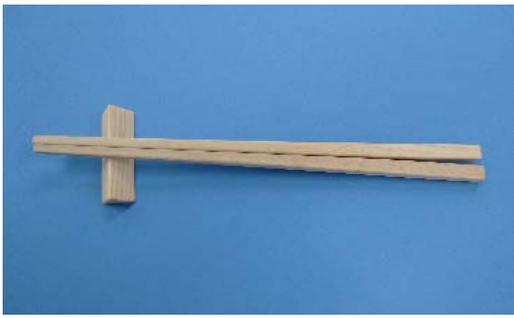
# 事業実績シート

取組の名称		給食時間における指導	担当課 <u>学校教育課</u> 問い合わせ先 027-898-5862
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	給食時間における食に関する指導を実施しました。	
	対象者	粕川中学校 1・2・3年生	
	実施方法 内容	リモートにより当日の給食を教材にし、1年生に「バランスよく食べよう」「水分補給について」、2年生に「成長期の食事について」、3年生に「受験期の食事について」の指導を行いました。	
	連携団体等	東部共同調理場	
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期
		実施日:6月17日 回数:1回 人数:96人	実施日:10月、12月 回数:2回 人数:172人
	期待される 効果等	「バランスよく食べよう」「水分補給について」「成長期の食事について」「受験期の食事について」のテーマに基づいて実際の給食を教材に指導することにより、生徒が食に関する知識や食への関心を深め、前橋市の「食に関する指導」の基本目標である「健康なからだをつくる」「豊かなところをはぐくむ」「地域の食文化を伝える」について理解することが期待されます。	
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)			

# 事業実績シート

取組の名称		桂萱オンライン講座 「桂萱 Kitchen ゼミ～野菜でもう1品!～」	担当課 桂萱公民館 問い合わせ先 027-261-0111
概要	基本目標	■つくる □はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	新型コロナウイルス対策として、野菜を多く取り入れた家庭でも作れる料理をオンライン方式（動画）にて配信しました。	
	対象者	どなたでも	
	実施方法 内容	桂萱地区食生活改善推進員会員により考案されたレシピ（厚あげのトマトスープ）を用いて地元で多く栽培されている野菜をメインとした健康に配慮した料理（減塩）を市公式 YouTube 動画にて配信しました。 ・令和3年10月15日動画撮影 ・令和3年10月26日動画配信	
	連携団体等	桂萱地区食生活改善推進員	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日： 回数： 人数：	下半期（予定） 実施日：令和3年10月26日動画配信 回数： 人数：
	期待される 効果等	居住地などに関係なくどなたでも視聴でき、外出を控えている方や仕事等で来館する時間が取れない年代層の方にも、動画を通して健康に留意した野菜たっぷりで減塩を意識した調理技術を学ぶことができます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）	  	

# 事業実績シート

取組の名称		粕川公民館子育て親子支援事業 「家族のハッピープロジェクト」 食×ものづくり講座 自分だけのお箸を作ろう ～バランスの取れた食事とは～	担当課 粕川公民館 問い合わせ先 027-285-3311
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	例年、粕川地区食生活改善推進員に協力してもらい、「食育講座」と「調理実習&試食」を組み合わせた講座を行っていました。今年度は、新型コロナウイルスの影響で「調理実習&試食」を実施することが難しいため、調理実習以外で「食」と絡めて「食育講座」ができないか考えました。 本事業は、食事をする際の大切なツールである「箸」を手づくりすることで、ものづくりの楽しさを学ぶとともに、食育講話やゲームを通して「食育」について無理なく学べる講座としました。	
	対象者	粕川地区内小学生とその保護者 10組	
	実施方法 内容	①食育講話 ②箸づくり体験 鉋(かんな)の数に限りがあるため、待機している間に食育ゲームを行う。(食育クイズ、食育魚釣り、おはしでゲーム)	
	連携団体等	粕川地区食生活改善推進委員会	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日: 回数: 人数:	下半期(予定) 実施日:12月11日(土) 回数:1回 人数:22名
	期待される 効果等	食育講話及び食育ゲーム ①食育知識の向上 ②食育への関心を持つ ③食育メニューを学ぶ ④正しい箸使いを学ぶ 食育について親子でともに学ぶことで、家庭での食生活を見直すきっかけとなります。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 	

# 事業実績シート

取組の名称		まえばしフードバンク事業	担当課 社会福祉課 問い合わせ先 027-898-5845
概要	基本目標	□つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	生活困窮等の事情から、日々の食事に不自由し社会的支援を必要とする方に対し、規格外等の様々な理由により廃棄の対象となる食品を食品関連企業及び地域団体等から無償で提供を受け、その食品を配布すること（フードバンク事業）により、生活の維持・向上及び食のセーフティネットとして支え合う地域づくりの推進を目的としています。	
	対象者	生活困窮者及び福祉団体等	
	実施方法 内 容	NPO法人三松会への委託事業として実施 1 フードバンク利用にあたっては、「まえばし生活自立相談センター（市役所社会福祉課内）」が申請窓口となります。 2 フードバンクまえばしから、自宅への食糧配付も行っています。 3 食品関連企業や市民の方からの食品の寄付を受け付けています。 4 子どもを対象とした無料学習支援を実施する団体や子どもの居場所づくりを目的とした福祉団体等への食糧提供支援を行っています。 5 フードドライブ運動を推進しています。	
	連携団体等	食品関連企業、市民団体等	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日： 回数： ※実績については別表 人数：	下半期(予定) 実施日： 回数： ※実績については別表 人数：
	期待される 効果等	生活困窮者の生活の維持・向上及び食のセーフティネットとして支え合う地域づくりの推進の他に、子どもの居場所作りの推進にも効果が見られます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	※実施結果については別表	

まえばしフードバンク事業実施状況

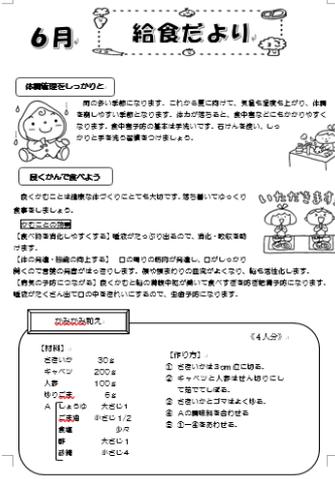
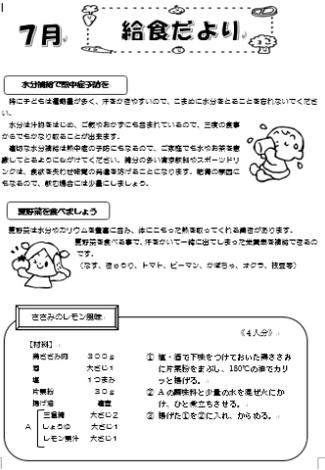
●支援実績

年度	内訳/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3	支援世帯 (件数)													
	個人	50	79	85	78	72	79	60	63					566
	団体	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	計	50	79	85	78	72	79	60	63	0	0	0	0	566

●食品寄付受入

年度	内訳/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3	企業寄付重量 kg	359	565	1,463	935	913	1,374	683	821					7,112
	個人寄付重量 kg	875	737	537	1,339	928	693	727	1,001					6,836
	三松会分	133	330	693	20	158	128	89	47					1,598

# 事業実績シート

取組の名称		お便り・レシピの配布		担当課 子育て施設課 問い合わせ先 027-220-5706	
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる			
	目的	保護者の食に関する様々な情報を掲載し食に関する知識向上と、保育所献立について保護者への情報提供を行い、家庭への食育につなげます。			
	対象者	公立保育所園児の保護者			
	実施方法 内容	毎月テーマを決めて、食に関する情報とその月の給食レシピを掲載します。献立表とともに、毎月保護者に配付します。			
	連携団体等				
実績	実施日 回数 人数等	上半期		下半期(予定)	
		実施日:毎月 回数:6回 人数:毎月、園児約1,500人の保護者		実施日:毎月 回数:6回 人数:毎月、園児約1,500人の保護者	
	期待される効果等	保護者の食への理解を深め、食事を作ることや子どもと一緒に食べることに喜びを持つことができるよう、家庭での献立作成の手助けをするとともに、食に関する不安を減少させます。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 				

# 事業実績シート

取組の名称		お楽しみメニュー・お楽しみおやつの実施		担当課 <u>子育て施設課</u> 問い合わせ先 027-220-5706
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる		
	目的	日常と非日常のメリハリをつける事によって、食事をより楽しいものと感じてもらえることを目的としています。また、季節や年中行事などを考慮した献立にし、伝統を知らせる機会としています。		
	対象者	公立保育所園児		
	実施方法 内 容	月に一回、お楽しみメニューの日とお楽しみおやつの日を実施します。献立は統一してありますが、実施日は保育所ごとに設定しています。		
	連携団体等			
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日:毎月それぞれ1回 回 数:6回×2回 人 数:毎月、園児約1,500人	下半期(予定) 実施日:毎月それぞれ1回 回 数:6回×2回 人 数:毎月、園児約1,500人	
	期待される 効果等	日常と非日常のメリハリをつける事によって、食事をより楽しいものと感じてもらえることを目的としています。また、季節や年中行事などを考慮した献立にし、伝統を知ることができます。		
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	  <p>たけのこご飯、鯉のぼりハンバーグ、吹流し(胡瓜・卵)、果物、すまし汁</p> <p>サクサクこいのぼりパイ、麦茶</p>		

# 事業実績シート

取組の名称		前橋・高崎連携事業 食育推進事業	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる	
	目的	前橋市・高崎市が連携して両市民への食育の啓発を図ることを目的に実施しています。	
	対象者	両市民	
	実施方法 内容	① 食育に関する講座等の開催、共通資料配布 ② 共通スローガン「食卓で 笑顔と健康 育てよう」の周知 ③ 広報紙の共通記事掲載 ④ 学校給食の連携 ⑤ 食生活改善推進員の連携	
	連携団体等	高崎市、前橋市・高崎市食生活改善推進員協議会	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:4~9月(①、②、③) 回数:①3回(からだにうれしい食講座、血糖値が気になる人の教室、栄養相談時にて配布)②随時(保健センターにて掲示)③1回 人数:	下半期(予定) 実施日:10~3月(①、②、④) 回数:①野菜をもっと食べようキャンペーンにて配布 ①②東市民サービスセンターでの野菜レシピ紹介の展示にて配布、掲示 ④1回 人数:
	期待される 効果等	食育の知識、食育への関心、食事のマナーが向上し、食生活・生活習慣の改善、食事の楽しさの増進などが期待されます。 また、両市共通の内容を実施することで、より多くの市民に食育の大切さや食の正しい知識について周知できます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>ポスター1: 野菜をプラス1皿70g(70g)。野菜摂取の現状、1日にとりたい野菜量の目安は350g(5皿)、目指せ1日350g!野菜をたくさん食べるコツ。</p> <p>ポスター2: 育てよう 食卓で 笑顔と健康。前橋・高崎食育連携スローガン。</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		食育ライブラリー	担当課 <u>健康増進課</u> 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	□つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる	
	目的	地域が一体となり、楽しみながら食育に取り組む環境づくりを推進するため、群馬県より譲与された食育の媒体や市の媒体を貸し出しします。群馬県の食べ物や郷土料理・行事食や食事のマナー、食に関する知識の普及を図ります。	
	対象者	市内学校、団体、企業、個人等	
	実施方法 内 容	食育ライブラリーの管理、貸し出しを行います。 貸し出し媒体 食べ物釣りゲーム、紙芝居、食育かるた、手と箸の模型、タペストリー、食事カード、お箸のDVD等	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 回数:10回 人数:222人	下半期(予定) 回数:18回 人数:274人
	期待される 効果等	地域や学校、個人での利用が広がることで、食育の関心を高め、食育の知識向上や、食事マナーの向上をめざし、食生活・生活習慣の改善に繋がることが期待されます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>媒体の一例</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		ごみ減量普及啓発事業(G活チャレンジ！ステキにごみダイエット)	担当課 <u>ごみ減量課</u> 問い合わせ先 027-898-6272
概要	基本目標	□つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	家庭で取り組んで欲しいごみ減量のための取り組みの周知啓発を行うなかで、課題の一つである食品ロスへの現状の理解・関心を高めることを目的としています。	
	対象者	前橋市民	
	実施方法 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座(座談会、バスツアーなど)での食品ロス削減の呼びかけ</li> <li>・段ボールコンポストの母材(竹粉と竹炭を混ぜたもの)配布</li> <li>・食べきり協力店登録制度</li> </ul>	
	連携団体等	フードバンクまえばし	
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期(予定)
		実施日:随時 回数:1回(出前講座)、305個(母材) 人数:11人(出前講座)、184人(母材)	実施日:随時 回数:1回(出前講座)、203個(母材) 人数:30人(出前講座)、127人(母材) 新規登録数:8店舗(食べきり協力店) (12月31日現在)
	期待される 効果等	食品ロスの知識の向上	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		敷島浄水場 施設見学における水道水への理解	担当課 浄水課 問い合わせ先 027-231-3075
概要	基本目標	□つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	毎日の健全な食生活を送るためにはかかすことのできない水道水を、いかに安全で安定して供給しているかということへの理解を深めることを目的とします。	
	対象者	小学生、市民	
	実施方法 内容	市内小学生における社会科見学や市民(自治会等の団体)の施設見学により、水道水が毎日の暮らしや食生活などとも密接した、大切なライフライン、貴重な資源であること、また安全・安心な水道水を供給する仕組みなどを説明しています。	
連携団体等	経営企画課、水道整備課		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:6月～7月 回数:19回 人数:1,167人	下半期 実施日:10月～12月 回数:7回 人数:348人
	期待される 効果等	毎日の健全な食生活を送るためにかかすことのできない水道水が、安全で安定して供給しつづける仕組みを理解し、安心して水道水を飲んでもらえます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		給食時間等の食育指導	担当課 教育委員会総務課 問い合わせ先 027-898-5809
概要	基本目標	□つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	学校給食を教材とした食育指導を行い、児童生徒の心身の健全な発達や食に関する正しい理解と適切な判断力を養います。	
	対象者	市立小中学校の児童生徒	
	実施方法 内 容	共同調理場の栄養士が学校給食や食育テーマに関連した掲示物や放送資料、動画を作成、配布し各学校での食育指導をサポートしています。 また、給食時等に学校を訪問し、校内放送を活用しながら食育指導を行っています。	
	連携団体等	学校教育課	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日： 随時 回数： 人数：	下半期（予定） 実施日： 随時 回数： 人数：
	期待される 効果等	食育への関心と知識の向上、食生活・生活習慣の改善、食文化への理解、食の安全への意識の向上、食事の楽しさの増進	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	10月の食育テーマに関連した掲示物 (東部共同調理場)	

# 事業実績シート

取組の名称		地域づくり協議会が行う食育関連事業	担当課 生活課 問い合わせ先 027-898-6510
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ ■ <b>つたえる</b> □まもる	
	目的	地域づくり協議会が地区の様々な団体と連携を図りながら食育を推進している事業をととして地産地消・郷土食など食育に関心を持てるようになることを目標とします。	
	対象者	市内の各地区に住む住民(小学校期・青年期・壮年期・高年期)	
	実施方法 内容	各地区の地域づくり協議会が食に関連する部会を設けて、地区の事業として実施している。 ・中川地区地域づくり協議会 そばうち体験講座  ・みやぎ地域づくり交流会 三夜沢あずきの収穫・普及活動	
	連携団体等	地域おこし協力隊、公民館	
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期
	期待される 効果等	地域を見つめなおす中で伝統的な食材、郷土食の普及を行っていますが、その取組が地域内の交流を高める要素もあり、一部ではあるが地域を越えた広がりもみられ、食育を通じた地域間交流も期待できます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		T-1 グランプリの実施	担当課 <u>観光政策課</u> 問い合わせ先 027-257-0674
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ <b>■つたえる</b> □まもる	
	目的	まえばし豚肉料理No.1決定戦「T-1 グランプリ」の開催など、「TONTONのまち前橋」の取り組みを進めることで、地域でとれる農産物を生かした料理、メニューの開発、地元農産物の普及と紹介に努めてきました。本年度も同様の目的で新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じつつ事業を行います。	
	対象者	前橋市民、本市を訪れる方	
	実施方法内容	民間委員で組織する「ようこそまえばしを進める会」の委託事業として実施。 市内飲食店を対象とした豚肉料理コンテスト「T-1 グランプリ」を開催。「また食べたい味、自慢したい料理、連れて行きたい処」をコンセプトに、一般投票と公募で選ばれた審査員による審査によりグランプリを決定します。	
	連携団体等	ようこそまえばしを進める会、T-1 グランプリ実行委員会	
実績	実施日回数人数等	上半期 実施時期、実施内容の検討	下半期(予定) 参加店舗・覆面審査員を下記期間募集 実施日：令和3年12月10日～20日 『T-1 グランプリ』を下記期間開催 実施日：令和4年2月14日～3月25日
	期待される効果等	食文化への理解の向上、食事の楽しさの増進。 平成31年度は660票の一般投票、104名の覆面審査員による審査が行われるなど、市内はもちろん、市外からも多くの方に参加していただき、本市を代表するグルメイベントとなっています。また、「T-1グランプリ」を通じて、「TONTONのまち前橋」のPRを行っています。令和2年度は代替えとして「T-1 Presents TONTON Goとんチャレンジ」を実施したところ、518口の応募があり、代替え事業についても「T-1 グランプリ」同様の効果が期待されます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	   	

# 事業実績シート

取組の名称		TONTON のまち前橋豚肉料理グルメブックの作成、加盟店舗の普及	担当課 <u>観光政策課</u> 問い合わせ先 027-257-0674
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ ■ <b>つたえる</b> □まもる	
	目的	地産地消の推進に向けて、「TONTON のまち前橋」加盟店舗の参加を呼びかけます。また、群馬県産豚肉を食材とした料理を提供している「TONTON のまち前橋」加盟店舗の普及を図ります。	
	対象者	前橋市民、本市を訪れる方	
	実施方法内容	民間委員で組織する「ようこそまえばしを進める会」の委託事業として実施。 群馬県産豚肉を食材とした料理を提供している「TONTON のまち前橋」加盟店舗を、「豚肉料理グルメブック」や「TONTON のまち前橋」ホームページにてPR。加盟店舗の参加・普及を図るため、「TONTON のまち前橋」の周知を図る。	
	連携団体等	ようこそまえばしを進める会	
実績	実施日回数人数等	上半期 ■TONTON のまち前橋豚肉料理グルメブックの発行 ■第16版、3.5万部発行	下半期(予定) ■TONTON のまち前橋加盟店の継続的な募集・周知
	期待される効果等	食文化への理解の向上、食事の楽しさの増進、食育の知識の向上。 「TONTON のまち前橋」加盟店舗を掲載した「豚肉料理グルメブック」は、市内はもろろん市外への前橋グルメPRに活用しています。 また、豚肉料理の健康への効果や、地域で飼育された豚肉の美味しさを伝えています。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 	

# 事業実績シート

取組の名称		郷土料理講習会	担当課 農政課 問い合わせ先 027-898-5841
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■ <b>つたえる</b> □まもる	
	目的	粉食文化が根付く前橋市の郷土料理の数々を広めるため、市民を対象にした郷土料理講習会を実施し、伝統食文化の伝承、スローフード及び地産地消の推進を図ります。 また、調理実習を通じて、地産地消センターの利用促進を図ります。	
	対象者	市内在住の市民	
	実施方法 内容	前橋市地産地消センター職員へ講師を依頼し、同施設にて実施します。 ・前橋産小麦粉を使用した炭酸まんじゅうと手打ちうどんの調理実習 ・アンケート	
	連携団体等	前橋市農業協同組合	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日： 回数： 人数：	下半期 実施日：10月21日、22日 回数：2回 人数：15人(21日：7人、22日：8人)
	期待される 効果等	調理技術の向上、食文化への理解の向上、農業への関心の醸成、地産地消の推進。  例年、参加申込みや事業アンケートにおいて、「昔祖父母が作ってくれた郷土料理を自分でも作りたい」、「講習会で習った料理を家でも作り、家族や友人にふるまいたい」という市民の声が多く、実際に講習会を通じて自ら調理することで郷土料理を身近に感じ、前橋に根付く粉食文化への理解の向上が期待されます。 また、地場産の食材の使用を通じて前橋の農業への関心を醸成し、地産地消を推進するとともに、世代を超えた市民交流の場としての効果も期待されます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>うどん打ちの様子</p>  <p>蒸かしあがったまんじゅうを扇ぐ様子</p>	

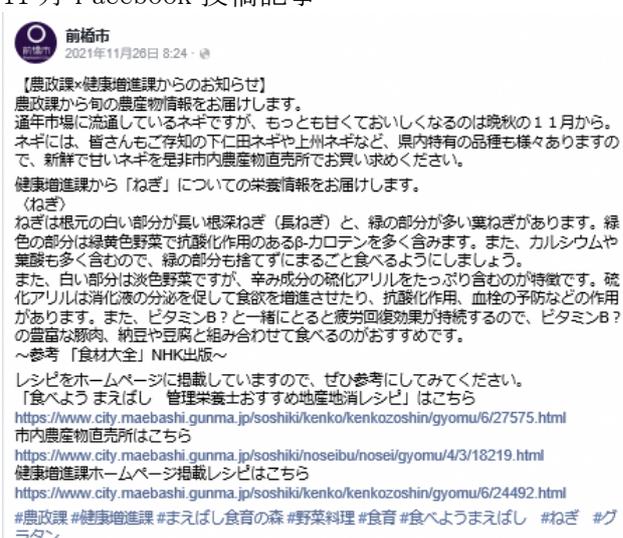
# 事業実績シート

取組の名称		赤城の恵ブランド推進事業	担当課 農政課 問い合わせ先 027-898-5841
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ ■つたえる ■まもる	
	目的	遊休農地解消作物や前橋ブランドとなりうる作物の作付けの推進を図り、差別化された付加価値のある農林水産物や加工品について普及啓発活動等に取り組み、遊休農地の解消と併せ、赤城の恵ブランド認証制度の普及推進や農商工連携による認証品の創出を通じた農業振興を目標としています。	
	対象者	市内外の方々	
	実施方法 内容	前橋市赤城の恵ブランド認証制度実施要綱に基づき実施しています。 ・赤城の恵ブランド認証品の募集・決定(年2回) ・赤城の恵ブランド認証品の広報まえばしや市ホームページ等での周知 ・赤城の恵ブランドの認知度向上、販路拡大を目的とした各種イベントの実施 ・認証品の生産者等に対する、食品衛生や適正な食品表示等についての周知啓発活動の実施	
	連携団体等	生産者、前橋市赤城の恵ブランド認証受証者、前橋市農業協同組合、群馬県卸酒販(株)、(公財)前橋観光コンベンション協会、前橋商工会議所、群馬県中部農業事務所、前橋市農業委員会、未来政策課、観光政策課、産業政策課、にぎわい商業課	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 ・新規認証決定品数:1件 ・認証者を対象とした研修会 8月31日 ほか認証品普及促進活動	下半期(予定含む) ・11/19~12/19認証品を含むギフト商品の通信販売キャンペーン(送料無料) ・2/12~3/6市内飲食店との連携 ・認証者を対象とした各種講習会の実施 ほか認証品の普及促進活動
	期待される 効果等	食育の知識向上、食育への関心の向上、食文化への理解の向上、食の安全への意識の向上、人との交流の促進。  赤城の恵ブランド認証品は、前橋産農林水産物やそれらを原材料に使用する加工品のうち、食の安全・安心や地産地消に取り組む品質の良いものとして、厳しい審査で選びぬかれたものです。「赤城の恵ブランド認証品」を多くの市民の方に知っていただき、手にとっていただくことは、前橋産農林水産物への理解を深めることにつながるため、継続的に「赤城の恵ブランド認証品」の認知度の向上、販路拡大に努めていきます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>赤城南麓の味がする。</p> <p>前橋市農業</p> <p>送料無料のギフトキャンペーン</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		伝統野菜づくり事業	担当課 農政課 問い合わせ先 027-898-5841
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ ■つたえる ■まもる	
	目的	前橋北部地区で栽培されている伝統野菜及び時沢大根を育成するため、整地から種まき、収穫、加工を行い、農業にふれあうことで、農業に対する理解と地域農産物の消費拡大を推進し、農業の振興、地産地消の推進をはかるとともに、伝統野菜の伝承していくことを目的としています。	
	対象者	市内在住・在勤の方	
	実施方法 内容	生産者団体等と連携して実施。 農業に触れ合うことによる農業への関心と食文化への理解の向上を目指して、各団体が主催する農業体験の運営費補助を行っています。	
	連携団体等	農事組合法人「味菜」、富士見商工会(時沢大根復活プロジェクトチーム)	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 さつま芋植え付け(6/6) 宮内菜種まき(9/12) 上泉大根種まき(9/12)	下半期(予定含む) さつま芋 収穫(10月中旬から各自で) 時沢大根 令和3年度食育優良活動表彰 表彰式(11/9) 上泉大根 収穫(11/23) たくあん漬(12/5) 宮内菜 収穫(2/20頃から)
	期待される 効果等	食文化への理解向上、地産地消の推進、農業への関心の向上、前橋産農産物の消費拡大、人との交流の促進。 伝統野菜の植え付け、種まきから収穫まで、一連の農業体験の運営を支援することで、幅広い世代の方に食文化と農業への関心向上が期待できます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>令和3年度食育優良活動表彰表彰式で賞状を受け取る、時沢大根復活プロジェクトチーム代表の奈良氏</p> <p>※新型コロナウイルスの影響により、令和3年度と同団体による市民体験は中止となったが、これまでの活動が評価され受賞となった</p>   <p>上泉大根の収穫と大根干し</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		農政課と連携した食情報発信	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■ <b>つたえる</b> □まもる	
	目的	農政課と連携して前橋の農産物の情報やレシピを発信することで、農産物消費増加、農産物直売所利用促進、野菜摂取量増加を図ります。	
	対象者	市民	
	実施方法 内容	SNSツール（前橋市公式Facebook、Instagram）にて食に関する情報発信を行いました。農政課からは旬の農産物情報と市内農産物直売所の利用促進のお願い、健康増進課からは、農政課で提供した情報に合わせ、農産物の栄養情報、レシピや料理写真を提供しました。	
	連携団体等	農政課	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日:5月21日、7月21日、9月17日 回数:3回 人数:	下半期（予定） 実施日:11月26日 1、3月（予定） 回数:3回 人数:
	期待される 効果等	市民の前橋産の農産物への興味関心の向上 農産物の消費増加 農産物直売所の利用促進 野菜摂取量の増加等の相乗効果  担当課が持つ情報（農産物情報、栄養情報、レシピ等）を連携して情報発信することで、市民の興味、購買意欲や健康志向等への関心を高め、相乗効果が期待できます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	<p>11月 Facebook 投稿記事</p>  <p>【農政課・健康増進課からのお知らせ】 農政課から旬の農産物情報をお届けします。 適年市場に流通しているネギですが、もっとも甘くておいしくなるのは晩秋の11月から。ネギには、皆さんもご存知の下仁田ネギや上州ネギなど、県内特有の品種も様々ありますので、新鮮で甘いネギを是非市内農産物直売所でお買い求めください。 健康増進課から「ねぎ」についての栄養情報をお届けします。 (ねぎ) ねぎは根元の白い部分長い根深ねぎ（長ねぎ）と、緑の部分が多い葉ねぎがあります。緑色の部分は緑黄色野菜で抗酸化作用のあるβ-カロテンを多く含みます。また、カルシウムや葉酸も多く含むので、緑の部分も捨てずじまるごと食べるようにしましょう。 また、白い部分は淡色野菜ですが、辛み成分の硫化アリルをたっぷり含むのが特徴です。硫化アリルは消化液の分泌を促して食欲を増進させたり、抗酸化作用、血栓の予防などの作用があります。また、ビタミンB<sub>2</sub>と一緒にとると疲労回復効果が持続するので、ビタミンB<sub>2</sub>の豊富な豚肉、納豆や豆腐と組み合わせて食べるのがおすすめです。 ～参考「食材大全」NHK出版～ レシピをホームページに掲載していますので、ぜひ参考に見てください。 「食べようまえばし 管理栄養士おすすめ地産地消レシピ」はこちら <a href="https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/kenko/kenkozoshin/gyomu/6/27575.html">https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/kenko/kenkozoshin/gyomu/6/27575.html</a> 市内農産物直売所はこちら <a href="https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/noseibu/noseibu/gyomu/4/3/18219.html">https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/noseibu/noseibu/gyomu/4/3/18219.html</a> 健康増進課ホームページ掲載レシピはこちら <a href="https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/kenko/kenkozoshin/gyomu/6/24492.html">https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/kenko/kenkozoshin/gyomu/6/24492.html</a> #農政課 #健康増進課 #まえばし食育の森 #野菜料理 #食育 #食べようまえばし #ねぎ #ブラタン</p>  	

# 事業実績シート

取組の名称		旬の野菜レシピの展示と配布	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■ <b>つたえる</b> □まもる	
	目的	農政課や関係団体と連携して前橋の農産物の情報やレシピを発信することで、農産物消費増加、農産物直売所利用促進、野菜摂取量増加を図ります。	
	対象者	市民	
	実施方法内容	東市民サービスセンターでの農政課による農畜産物等の写真展に併せて、料理写真の展示やレシピを配布しました。展示や配布を食生活改善推進員と共同で行いました。	
	連携団体等	農政課、東市民サービスセンター、食生活改善推進員	
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日： 回数： 人数：	下半期（予定） 実施日：11月29日～12月17日 回数： 人数：
	期待される効果等	市民の前橋産の農産物への興味関心の向上 農産物の消費増加 農産物直売所の利用促進 野菜摂取量の増加等の相乗効果 多くに市民が利用する市民サービスセンターにおいて、担当課が持つ情報（農産物情報、栄養情報、レシピ等）を連携して展示することで、市民の興味、購買意欲や健康志向等への関心を高め、相乗効果が期待できます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

# 事業実績シート

<p>取組の名称</p>	<p>食に関する情報提供</p>	<p>担当課 教育委員会総務課 問い合わせ先 027-898-5809</p>				
<p>概要</p>	<p>基本目標</p>	<p>□つくる □はぐぐむ ■<b>つたえる</b> □まもる</p>				
	<p>目的</p>	<p>様々な広報媒体を活用して、学校給食に関する情報を提供・発信することで、学校給食への理解を深め、食育への興味や関心を高めます。</p>				
	<p>対象者</p>	<p>市立小中学校の児童生徒、児童生徒の保護者</p>				
	<p>実施方法 内容</p>	<p>毎月、給食だよりや献立表・アレルギー詳細献立表を作成して情報を提供します。 また、前橋市の学校給食の魅力をもつため、SNSを活用して給食の写真や献立内容、栄養士による説明などを発信します。</p> <p>【情報提供の方法】</p> <p>① タブレットで配信 ② 市ホームページに掲載 ③ フェイスブックに掲載</p>				
<p>連携団体等</p>	<p>学校教育課</p>					
<p>実績</p>	<p>実施日 回数 人数等</p>	<p>上半期</p> <p>実施日:随時 回数:給食だより ⇒ 月1回、計5回 市ホームページ ⇒ 5回 フェイスブック ⇒ 10回</p>	<p>下半期(予定)</p> <p>実施日:随時 回数:給食だより ⇒ 月1回、計6回 市ホームページ ⇒ 6回 フェイスブック ⇒ 12回</p>			
	<p>期待される効果等</p>	<p>食育への関心の向上、食文化への理解、学校給食への不安の軽減・解消が期待できます。</p>				
	<p>取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)</p>	 <p>給食だより 2021年12月号 冬部共同調理場</p> <p>冬の食生活について ～かぜ予防は体の中から～</p> <p>いよいよ冬本番！かぜが流行する季節になりました。熱が出たり、せきが引いたり、のどや鼻が痛くなったり・・・かぜをひくとつらいです。かぜを予防するためには、じゅうぶんな睡眠と、栄養バランスのよい食生活を心がけましょう！</p> <p>かぜとたたかう4つの栄養素 *バランスよく食べてかぜに負けない体をつくらう*</p> <table border="1"> <tr> <td> <p><b>ビタミンA</b></p> <p>かぜのウイルスの入り口になる鼻やのどの粘膜を強くしてウイルスの侵入を防いでくれる栄養素</p> <p>目の悪い野菜(青黄赤野菜)、うなぎ、レバー、鶏卵、チーズ、バターなど</p> </td> <td> <p><b>たんぱく質</b></p> <p>体のもとになる栄養素。発汗を防いでくれます。</p> <p>肉、魚、卵、大豆、豆腐、牛乳、ヨーグルト、チーズ、バターなど</p> </td> </tr> <tr> <td> <p><b>ビタミンC</b></p> <p>体の抵抗力を高めて、ウイルスを退治してくれる栄養素。</p> <p>目のみずい野菜(赤色野菜)、くだもの、いちごなど</p> </td> <td> <p><b>脂肪</b></p> <p>エネルギーのもとになる栄養素。暖かさを保ち、体をあたためてくれます。</p> <p>バター、マーガリン、マヨネーズ、ドレッシングなど</p> </td> </tr> </table> <p>かぜは予防のものとされています。かぜをれはじめるとる感染源を予防するために栄養をじゅうぶんに、夜はなるべく早く寝て体を疲れさせないように心がけましょう。もちろん、うがい・手洗いも忘れずに！</p>		<p><b>ビタミンA</b></p> <p>かぜのウイルスの入り口になる鼻やのどの粘膜を強くしてウイルスの侵入を防いでくれる栄養素</p> <p>目の悪い野菜(青黄赤野菜)、うなぎ、レバー、鶏卵、チーズ、バターなど</p>	<p><b>たんぱく質</b></p> <p>体のもとになる栄養素。発汗を防いでくれます。</p> <p>肉、魚、卵、大豆、豆腐、牛乳、ヨーグルト、チーズ、バターなど</p>	<p><b>ビタミンC</b></p> <p>体の抵抗力を高めて、ウイルスを退治してくれる栄養素。</p> <p>目のみずい野菜(赤色野菜)、くだもの、いちごなど</p>
<p><b>ビタミンA</b></p> <p>かぜのウイルスの入り口になる鼻やのどの粘膜を強くしてウイルスの侵入を防いでくれる栄養素</p> <p>目の悪い野菜(青黄赤野菜)、うなぎ、レバー、鶏卵、チーズ、バターなど</p>	<p><b>たんぱく質</b></p> <p>体のもとになる栄養素。発汗を防いでくれます。</p> <p>肉、魚、卵、大豆、豆腐、牛乳、ヨーグルト、チーズ、バターなど</p>					
<p><b>ビタミンC</b></p> <p>体の抵抗力を高めて、ウイルスを退治してくれる栄養素。</p> <p>目のみずい野菜(赤色野菜)、くだもの、いちごなど</p>	<p><b>脂肪</b></p> <p>エネルギーのもとになる栄養素。暖かさを保ち、体をあたためてくれます。</p> <p>バター、マーガリン、マヨネーズ、ドレッシングなど</p>					

# 事業実績シート

取組の名称		地産地消の推進	担当課 教育委員会総務課 問い合わせ先 027-898-5809
概要	基本目標	□つくる ■はぐくむ <b>■つたえる</b> □まもる	
	目的	学校給食に地場産農畜産物を取り入れることで、児童生徒の食育への関心と地域の食文化への理解を深めるとともに、学校給食への愛着心を育むことで、食べ残しを減少させます。	
	対象者	市立小中学校の児童生徒	
	実施方法 内 容	身近な旬の地場産農産物を取り入れられる献立作成に努め、地場産農畜産物を優先的に使用します。地場産農畜産物の使用は、献立表や放送資料を通して児童生徒に周知します。	
	連携団体等		
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 【野菜地産地消率(重量ベース)】 前橋産 32.16%	下半期 (目標) 【野菜地産地消率(重量ベース)】 前橋産 43.00% (目標)
	期待される 効果等	食の安全への意識の向上、食育への関心と知識の向上、残食の減少	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		行事食と郷土食の提供	担当課 教育委員会総務課 問い合わせ先 027-898-5809
概要	基本目標	□つくる ■はぐくむ ■ <b>つたえる</b> □まもる	
	目的	児童生徒に地域の伝統行事に関連する行事食や郷土食を学校給食で提供し、伝統文化の大切さを伝え、地域の優れた食文化への理解を深めます。	
	対象者	市立小中学校の児童生徒	
	実施方法 内 容	季節に応じた行事食や郷土食を学校給食の統一献立として毎月1回提供し、校内放送等で由来を説明・紹介することで食育指導を行います。	
	連携団体等	学校教育課	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 <b>【実施月・行事名】</b> 4月 入学・進級祝い 5月 こどもの日 6月 歯と口の健康週間 7月 七夕 9月 十五夜	下半期（予定） <b>【実施月・行事名】</b> 10月 学校給食ぐんまの日 11月 収穫の祝い 12月 冬至 1月 学校給食週間 2月 節分 3月 ひなまつり・卒業祝い
	期待される 効果等	食文化への理解の向上、食への興味・関心の向上	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	<b>【行事食の献立内容】</b>  10月 学校給食ぐんまの日 ・ごはん ・前橋メンチカツ ・おつきりこみ ・小松菜のごまあえ ・牛乳	

# 事業実績シート

取組の名称		さつまいもほり体験	担当課 桂萱公民館 問い合わせ先 027-261-0111
概要	基本目標	□つくる ■はぐくむ ■ <b>つたえる</b> □まもる	
	目的	地域資源を活用し、屋外で旬の野菜収穫を体験しながら、親子や異年齢の参加者との交流を図るとともに、食への関心を高めるため、さつまいもを収穫する機会を設けました。	
	対象者	小中学生とその家族(主に地区内)、子育てセミナー受講者とその家族	
	実施方法内容	6月 さつまいもの苗植え(コロナ禍の密を避けるため、職員が代行。) 場所は地区内、農事組合法人味菜が管理する畑(荻窪町) 以降10月まで、時々畑の除草作業。 10月 旬の野菜、さつまいもを親子(家族)で収穫 味菜組合長から収穫方法や保管方法等の説明を受けました。 食生活推進員から提供されたさつまいもレシピを配付しました。	
連携団体等	農事組合法人 味菜、桂萱地区食生活改善推進員会		
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日: 回数: 人数:	下半期(予定) 実施日:令和3年10月24日(日) 回数:1回 人数:72人
	期待される効果等	旬の食材の知識向上、同一食材の多彩な調理法習得、地産地消の推進 収穫体験により、食材への関心を高め、関連レシピによって調理方法を紹介することで、総じて食への興味や関心の向上を図りました。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px; width: 250px;"> <p style="text-align: right; font-size: small;">P3 桂萱オーサムキッチンプロジェクト (香城ふらく風山学校)「さつまいもほり体験」</p> <p style="text-align: center; color: pink; font-weight: bold;">さつまいも料理のレシピ</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">秋の味覚、さつまいも料理を紹介します。</p> <div style="text-align: center;"> <p>◆鬼まんじゅう◆</p>  </div> <p style="font-size: x-small;">(材料:約9個分)、 さつまいも 300g、 砂糖 51g、 薄力粉 81g、 上新粉 27g、 黒胡麻塩 適宜、</p> <p>《作り方》、 ① さつまいもは皮を剥いて、1cmくらいに角切りにし、水に10分程度さらしてアクぬきをする。 ② 水気をきってから、ボウルに入れ、砂糖をまぶして約10分おく。 ③ ②に粉類を加え、粉っぽさがなくなるまで混ぜる。(さつまいもの水分だけでは足りない時は、少量の水を入れる。) ④ 等分に丸めて、湯気のたった蒸し器にクッキングシートを敷いて15分くらい蒸す。(爪楊枝等で刺して蒸し具合を確認する。) ⑤ 蒸し上がったらザルに取り出して、胡麻塩をふる。</p> </div>	

# 事業実績シート

取組の名称		新前橋商工会×赤城の恵 スタンプラリー	担当課 政策推進課 問い合わせ先 027-898-6512
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	赤城の恵ブランドを使用した料理を食べてもらうきっかけを創出し、前橋市産食材の良さを広く知ってもらいます。また、飲食店と連携することで、コロナ禍において、大きな打撃を受けている飲食店への支援へ繋げる取組みも目指します。	
	対象者	市民	
	実施方法内容	新前橋商工会所属の飲食店等と連携し、赤城の恵ブランド認証品を活用した商品開発を行い、「新前橋商工会×赤城の恵 スタンプラリー」を開催します。 参加飲食店 約20店(新前橋商工会加盟店舗) 参加飲食店で該当メニューを食べた方にスタンプを押印し、基準以上のスタンプを集めた方に記念品を贈呈します。	
連携団体等	新前橋商工会(参加店舗)、JR東日本(⇒未定)		
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日: 回数: 人数:	下半期(予定) 実施日:2月25日(金)~3月21日(月・祝) 回数:25日間 人数: -
	期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤城の恵ブランド認証品の認知度が向上します</li> <li>参加飲食店舗の売り上げ向上が期待されます</li> <li>参加飲食店舗の広告効果が期待されます</li> <li>参加飲食店舗と生産者のマッチングの機会となります</li> </ul>	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>赤城の恵×新前橋商工会 スタンプラリー</p> <p>「赤城の恵」認証品を介して、飲食店・生産者とお客様をつなぐスタンプラリーを開催します。</p> <p>参加飲食店募集中！</p> <p>実施期間 令和4年2月25日(金) ~令和4年3月21日(月・祝)</p> <p>参加パターン</p> <p>①Aで参加 ②Bで参加 ③A+Bで参加 ④物販で参加 の4パターン</p> <p>参加飲食店には、食材(赤城の恵)を一部無償で提供します。</p> <p>問合せ:新前橋商工会 前橋市役所</p> <p>店名 シンバル 店名 いの焼き 軒や 住所 〒371-8601前橋市大手町2-12-1 TEL 090-9018-2840 TEL 027-209-5201 TEL 027-898-0512 担当 吉田 担当 中谷 担当 林・瀧野</p> <p>新前橋商工会フェイスブックページ 前橋市役所公式ホームページ</p> <p>スタンプラリー 提供食材料</p> <p>こちらの食材でメニューを作ってください</p> <p>①福豚ジャーキー HUTTE HAYASHI ②前橋ころとん 赤ワイン仕立て(50g) ペーコン(140g) 近藤スウィンボーグ</p> <p>③粗挽き前橋ころとん ④前橋ころとんの ⑤前橋ころとん ⑥前橋ころとんの ⑦前橋ころとん ⑧もち屋伝次平の</p> <p>⑨えみちやんの 純穀はちみつ</p> <p>⑩まえばし ⑪麦粉カレー ⑫JA前橋市畜産部</p> <p>⑬キッチン産けるん ⑭もち(300g) ⑮ヤバダファーム</p> <p>⑯白切り ¥297 ⑰シソ ¥340 ⑱桑 ¥340 ⑲青のり ¥340 ⑳絹 ¥382 ㉑玄米 ¥382</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		おはしの教室	担当課 <u>学校教育課</u> 問い合わせ先 027-898-5862
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ <b>■つたえる</b> □まもる	
	目的	正しい箸の持ち方を知り、正しく持って食事ができるようになります。	
	対象者	おおご幼稚園年少	
	実施方法 内容	保護者試食会に合わせ、保護者と一緒に正しい箸の持ち方を練習する。	
	連携団体等	宮城共同調理場	
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期（予定）
		実施日： 回数： 人数：	実施日：2月17日（木） 回数：1回 人数：保護者含め、36人
	期待される 効果等	正しい箸の持ち方を覚え、食事のマナーを守りながら食事ができるようになる。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		給食施設巡回指導及び研修会	担当課 <u>衛生検査課</u> 問い合わせ先 027-220-5778
概要	基本目標	□つくる □はぐぐむ ■つたえる ■ <b>まもる</b>	
	目的	○給食施設に対し、適切な指導及び助言を行うことにより、喫食者の栄養管理、健康増進の維持向上を図ります。 ○病院等の大量調理施設に対し衛生管理指導を行うことにより、集団食中毒を未然に防止します。	
	対象者	給食施設設置者及び給食関係従事者	
	実施方法 内容	○市内給食施設を定期的に巡回し、栄養管理及び衛生管理についての書類確認や現地調査を行い、指導及び助言を行います。 ○給食施設従事者に対し研修会を行い、栄養管理及び衛生管理に関する情報提供を行います。	
連携団体等	特になし		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 【巡回指導】 実施日：①4～5月、②9月 回数：①11施設、②未定 【研修会】 実施日：①7月30日、②8月3日、 ③8月6日 参加人数：①39人、②52人、③24人	下半期 【巡回指導】 実施日：①10～11月、②1～2月 回数：①32施設、②26施設
	期待される 効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食利用者の健康保持増進</li> <li>給食利用者の食育推進</li> <li>安全な給食の提供</li> </ul>	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p style="text-align: center;">研修会の様子</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		食品衛生講習会	担当課 衛生検査課 問い合わせ先 027-220-5778
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ □つたえる ■まもる	
	目的	講習会を通して、市民や食品関連事業者等に対し食品の衛生的な取り扱いや食中毒予防等、食品衛生に関する正しい知識の普及啓発を図ります。	
	対象者	市民、食品関連事業者等	
	実施方法 内 容	(1) 出前講座 「食中毒予防について」(市内高齢者施設・こども食堂関係者)  (2) リスク管理研修会(農畜産物加工品創出支援事業) 「食品表示について・食品衛生法の改正について」	
	連携団体等	(1)生涯学習課 (2)農政課	
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期
		(1)食中毒予防について 実施日:7月20日 参加者:19人 (2)リスク管理研修会 実施日:8月31日 参加者:12人	(1)食中毒予防について 実施日:11月30日 参加者:9人
	期待される 効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食中毒や衛生管理に関する知識の向上</li> <li>・食品の安全確保の促進</li> </ul>	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

# 事業実績シート

取組の名称		非常用食料の備蓄	担当課 防災危機管理課 問い合わせ先 027-898-5935
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ □つたえる ■まもる	
	目的	前橋市では災害時に備え、主に市内の各小中学校の指定避難所に非常用食料（アルファ米、クッキー等）を備蓄しています。	
	対象者	災害発生時の避難者	
	実施方法 内 容	前橋市防災アセスメント調査結果(平成25年3月)では、深谷断層帯を震源とした地震により最大の被害が発生すると想定しており、最大避難者数が48,000人と算出されていることから、避難者の一日2食分に当たる非常用食料(計96,000食分)と飲料水を備蓄しています。 また、非常用食料については、アレルギー対応のもの、高齢者、障害者等に配慮したものも含め、備蓄を行っています。 なお、各指定避難所(市内小中学校)への非常用食料の備蓄については、平成30年度で完了しています。	
	連携団体等	災害時応援協定締結団体（自治体、企業）	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：－ 回数：－ 人数：－	下半期 賞味期限を迎える14の指定避難所に対し食糧の入れ替えを行った。 実施日：R3. 9. 7 回数：1回 人数：－
	期待される 効果等	地震等の災害発生時に、指定避難所へ避難した市民に対し非常用食料を配布することで、避難者の健康維持と安定した避難所開設に効果が期待されます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>防災倉庫外観</p>  <p>防災倉庫内 備蓄食料品等</p>	